

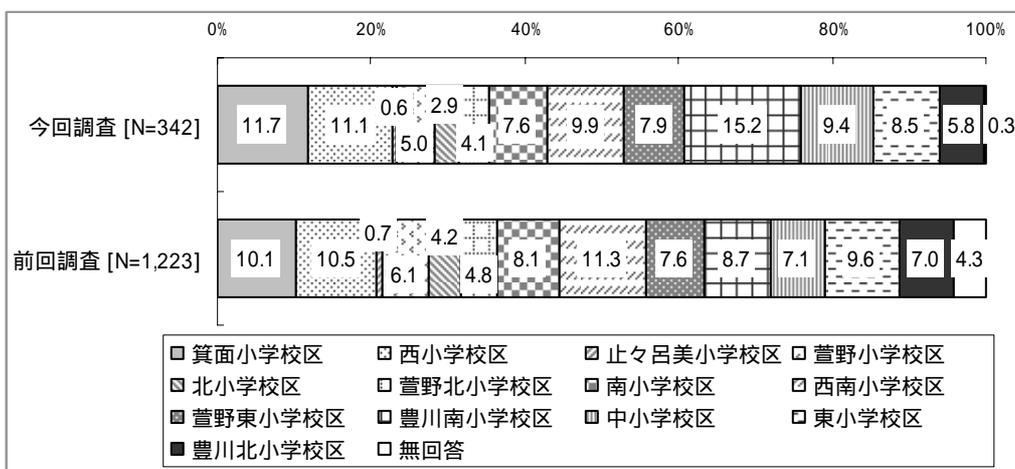
2 . 中学生調査結果の分析

1 . 回答者の属性

(1) 小学校区

小学校区は、割合の高い順に、「豊川南小学校区」(15.2%)、「箕面小学校区」(11.7%)、「西小学校区」(11.1%)となっています。

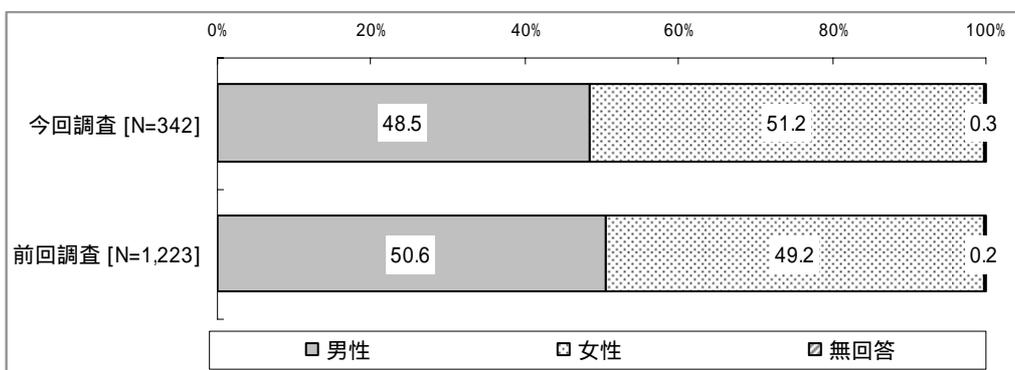
図表 III-65 小学校区



(2) 性別

性別は、「男性」が 48.5%、「女性」が 51.2%となっています。

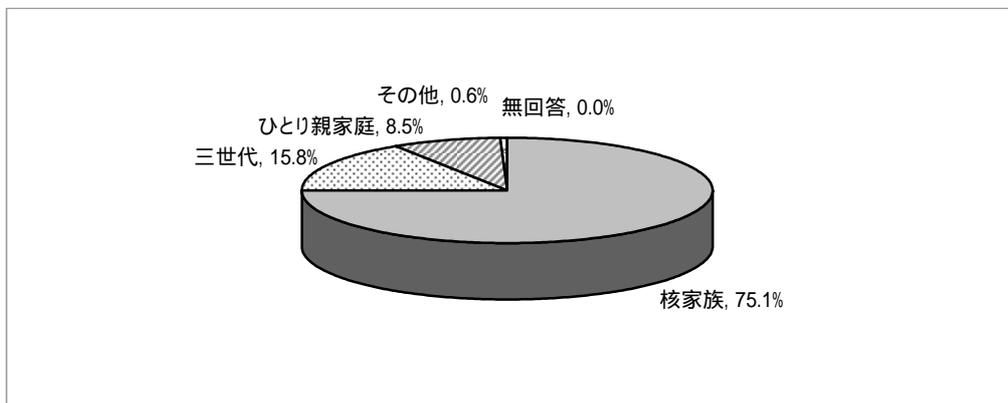
図表 III-66 性別



(3) 家族構成

家族構成は、「核家族」の割合が最も高く75.1%、次いで、「三世代」(15.8%)、「ひとり親家庭」(8.5%)の順に高い割合となっています。

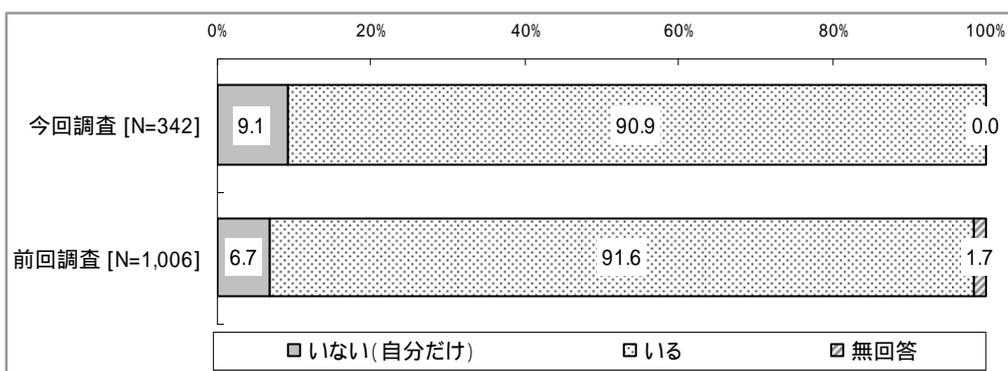
図表 III-67 家族構成[N=342]



(4) きょうだいの有無

きょうだいの有無については、「いる」という人が90.9%、「いない(自分だけ)」という人が9.1%となっています。前回調査と比較すると、「いない(自分だけ)」の割合が2.4ポイント上昇しています。

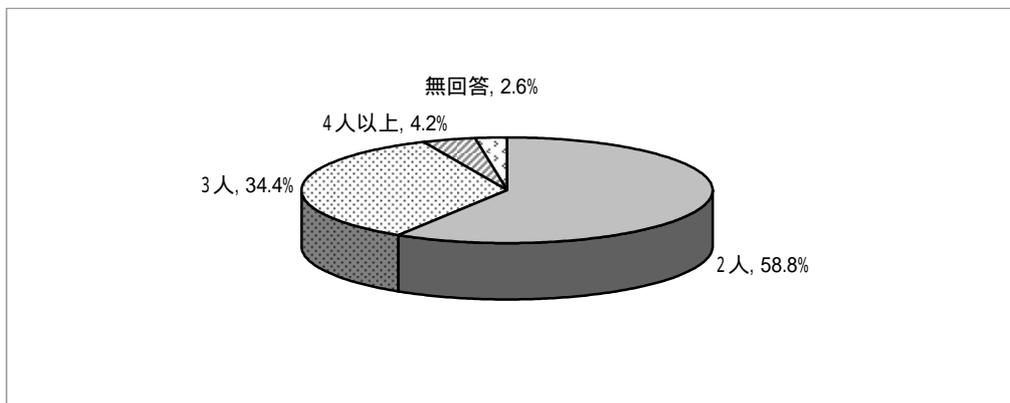
図表 III-68 きょうだいの有無



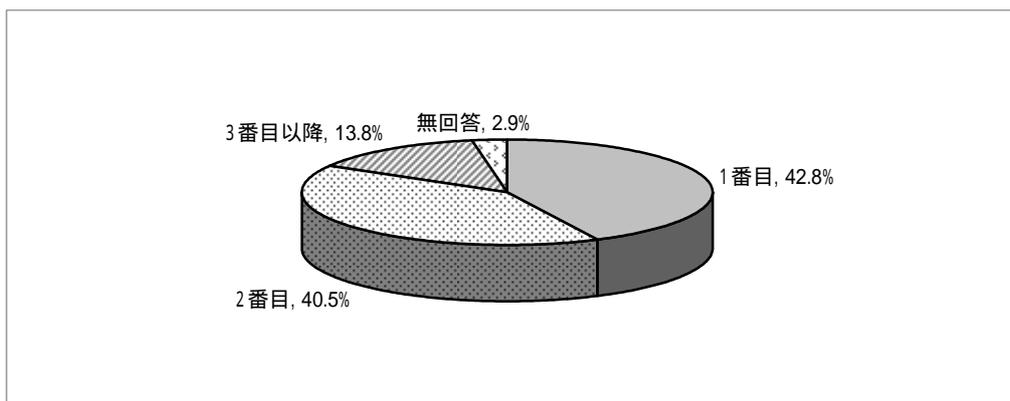
前回の回答者は、中学2年生の保護者である。

きょうだい「いる」と回答した人に、きょうだいの人数を聞いたところ、「2人」の割合が最も高く58.8%、次いで「3人」の割合が高く34.4%となっています。また、きょうだいの何番目かについては、割合の高い順に、「1番目」(42.8%)、「2番目」(40.5%)となっています。

図表 III-69 きょうだいの人数[N=311]



図表 III-70 きょうだいの何番目[N=311 ; 複数回答]

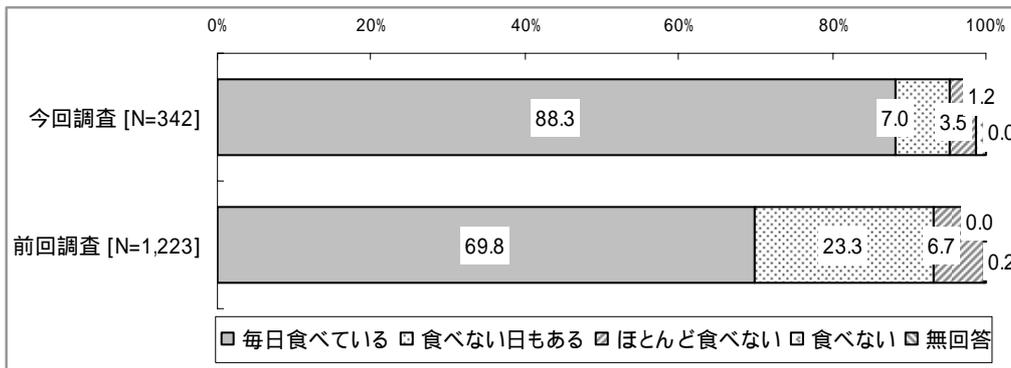


2. 家庭での様子

(1) 朝食の頻度

朝食をとる頻度を聞いたところ、「毎日食べている」という人が大半を占めており、88.3%となっています。一方、「食べない日もある」という人の割合は7.0%となっています。前回調査と比較すると、「毎日食べている」という人の割合が18.5ポイント上昇しています。

図表 III-71 朝食をとる頻度



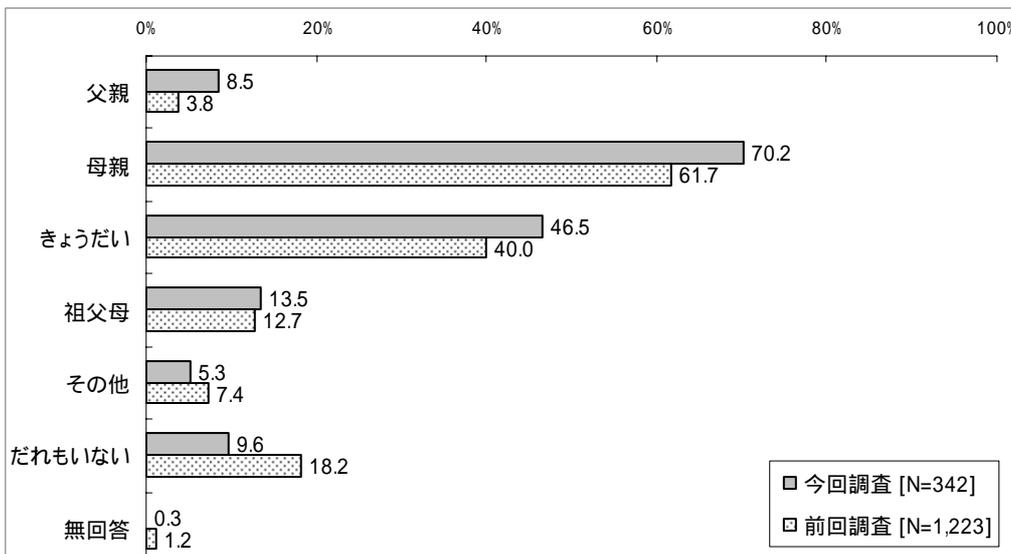
「食べない」は、今回調査のみの選択肢である。

(2) 家族とのかかわり

学校から帰ってきた時に家にいる人を聞いたところ、「母親」の割合が最も高く70.2%、次いで「きょうだい」の割合が高く46.5%となっています。

前回調査と比較すると、「母親」(+8.5ポイント)、「きょうだい」(+6.5ポイント)の割合が上昇しており、「だれもいない」の割合が8.6ポイント低下しています。

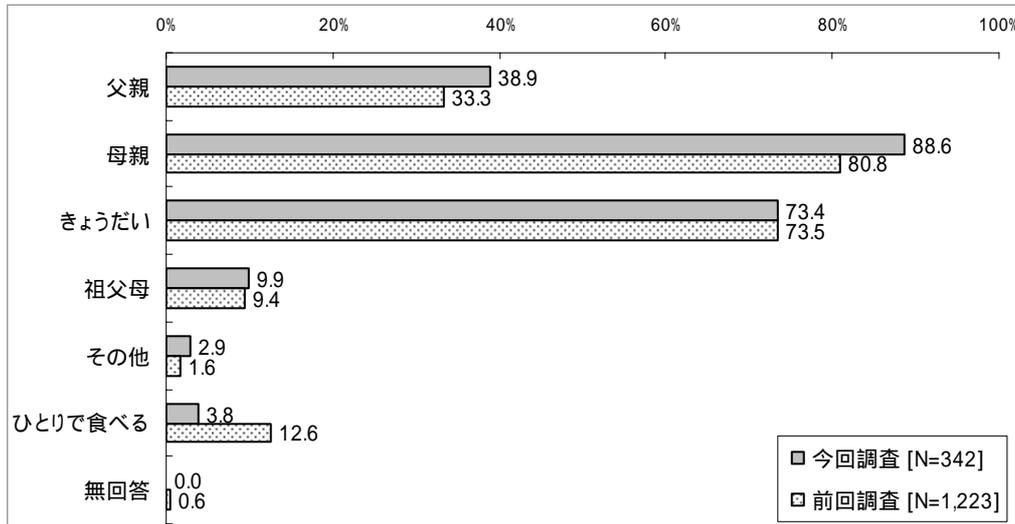
図表 III-72 学校から帰ってきた時に家にいる人[複数回答]



夕食をだれと食べることが多いか聞いたところ、「母親」(88.6%)、「きょうだい」(73.4%)の割合が高くなっています。また、「父親」の割合は38.9%となっています。

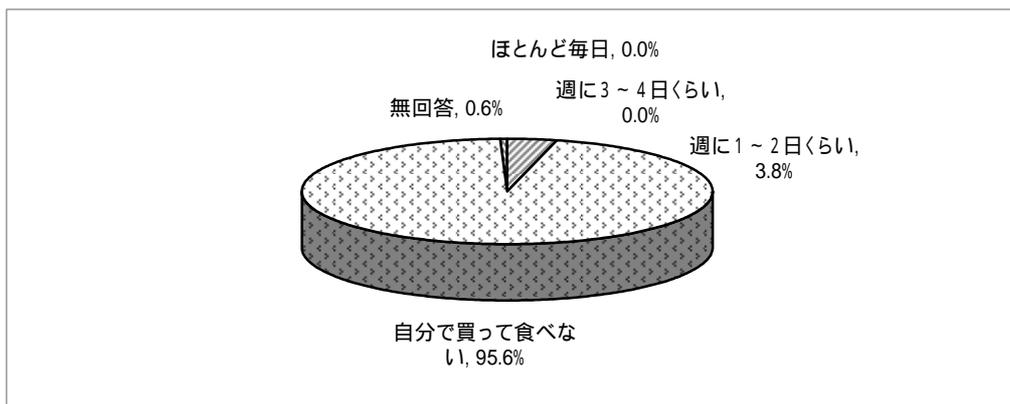
前回調査と比較すると、「父親」(+5.6ポイント)、「母親」(+7.8ポイント)の割合が上昇しており、「ひとりで食べる」の割合が8.8ポイント低下しています。

図表 III-73 夕食をだれと食べることが多いか[複数回答]



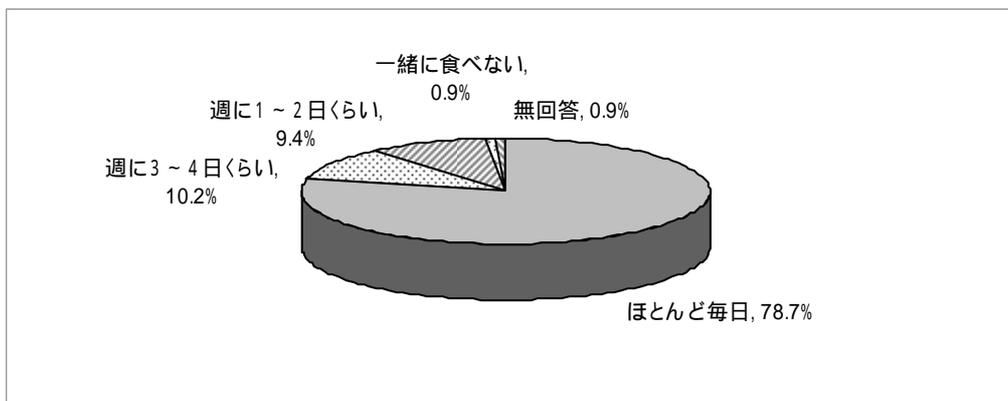
夕食を自分で買って食べることがあるかを聞いたところ、「自分で買って食べない」という人が大半を占めており95.6%となっています。また、「週に1~2日くらい」という人の割合は3.8%となっています。

図表 III-74 夕食を自分で買って食べることもあるか[N=342]



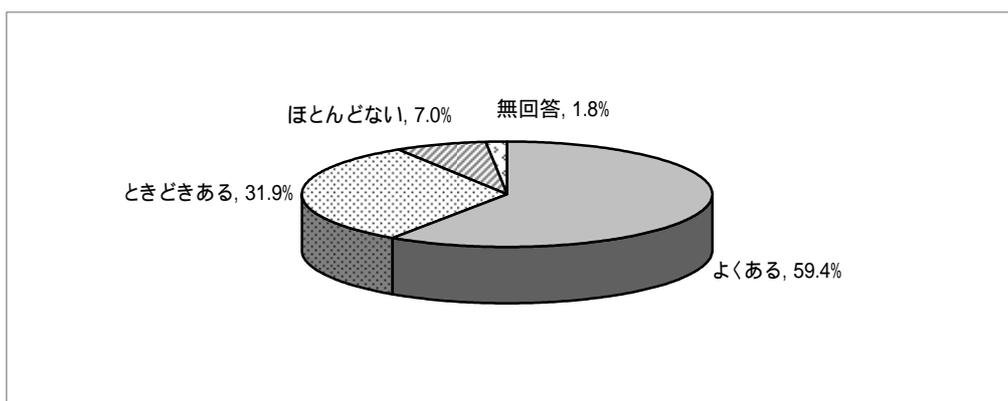
家族で一緒に食事をする頻度を聞いたところ、「ほとんど毎日」という人の割合が最も高く 78.7%、次いで「週に3～4日くらい」という人の割合が高く 10.2%となっています。

図表 III-75 家族で一緒に食事をする頻度[N=342]



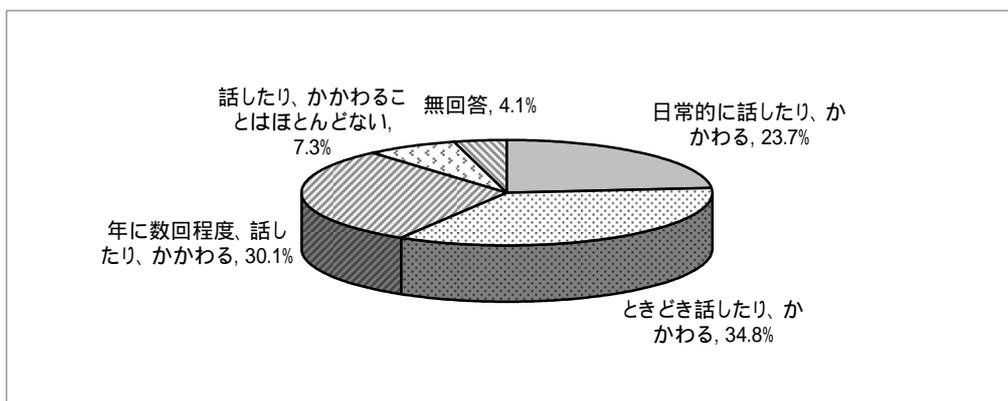
家族が集まって何か一緒にする頻度を聞いたところ、「よくある」という人の割合が最も高く 59.4%、次いで、「ときどきある」という人の割合が高く 31.9%となっています。

図表 III-76 家族が集まって何か一緒にする頻度[N=342]



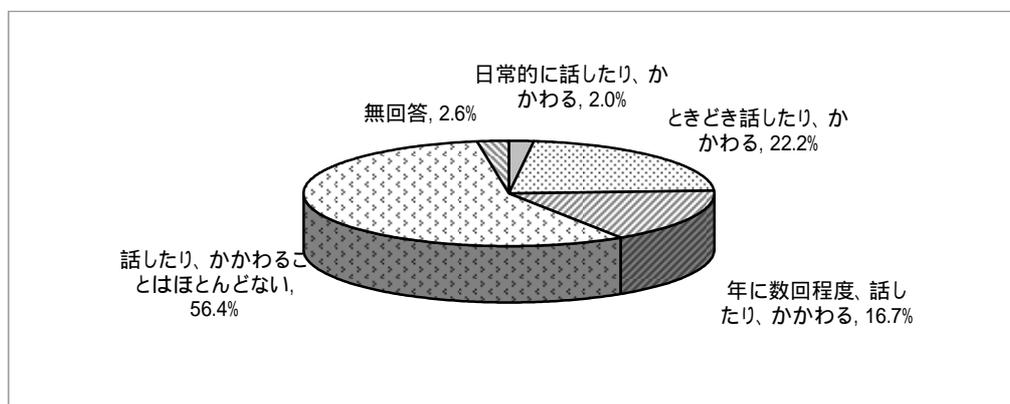
自分の祖父母と話したり、かかわる頻度を聞いたところ、「ときどき話したり、かかわる」(34.8%)、「年に数回程度、話したり、かかわる」(30.1%)、「日常的に話したり、かかわる」(23.7%)の順に高い割合となっています。

図表 III-77 自分の祖父母と話したり、かかわる頻度[N=342]



一方、地域の高齢者と話したり、かかわる頻度を聞いたところ、「話したり、かかわることはほとんどない」という人の割合が最も高く 56.4%、次いで、「ときどき話したり、かかわる」(22.2%)、「年に数回程度、話したり、かかわる」(16.7%)の順に高い割合となっています。

図表 III-78 地域の高齢者と話したり、かかわる頻度[N=342]

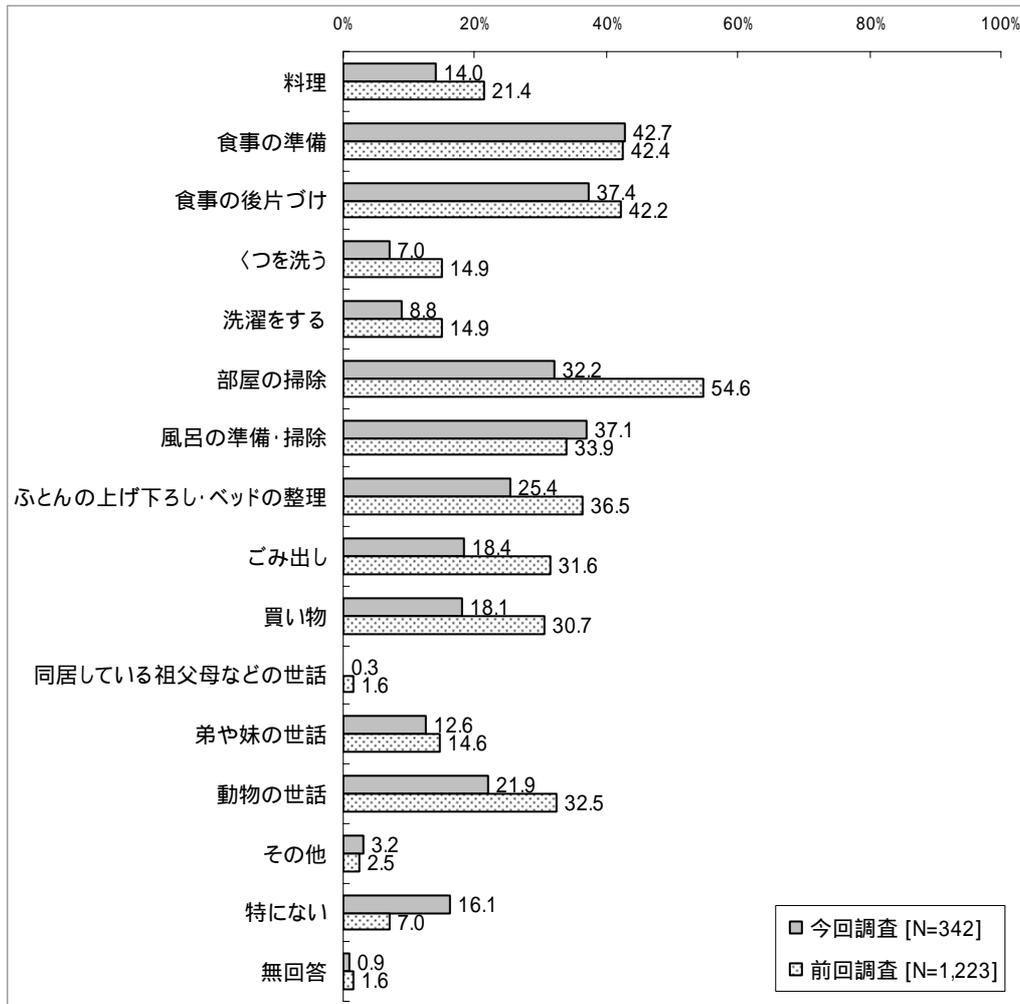


(3) 家の手伝い

普段している家の手伝いを聞いたところ、「食事の準備」(42.7%)、「食事の後片づけ」(37.4%)、「風呂の準備・掃除」(37.1%)が高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」という人の割合が9.1ポイント上昇しており、何らかの手伝いをしている人の割合は概ね低下傾向にあります。

図表 III-79 普段している家の手伝い[N=342 ; 複数回答]



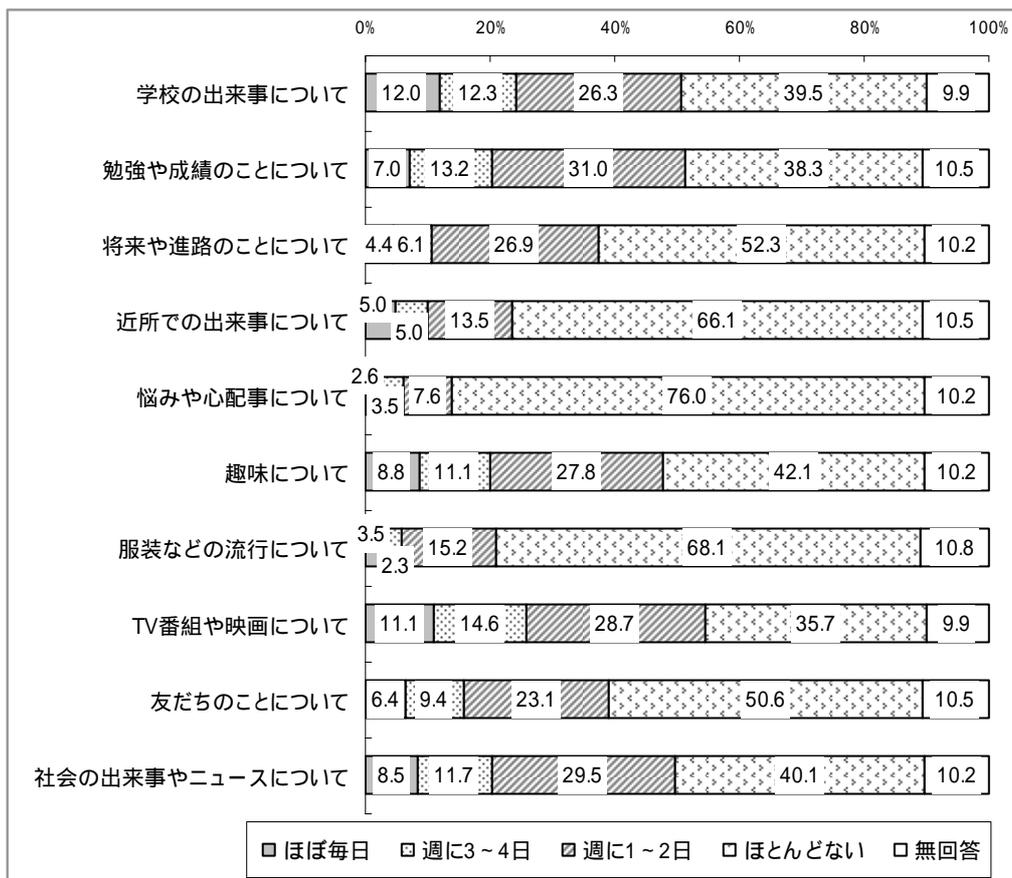
前回調査では、「料理」は「料理の手伝い」、「くつをあらう」は「靴をあらう」「風呂の準備」は「風呂そうじ」、「ふとんの上げ下ろし・ベッドの整理」は「ふとんをしく・たたむ」となっている。

(4) 親子関係

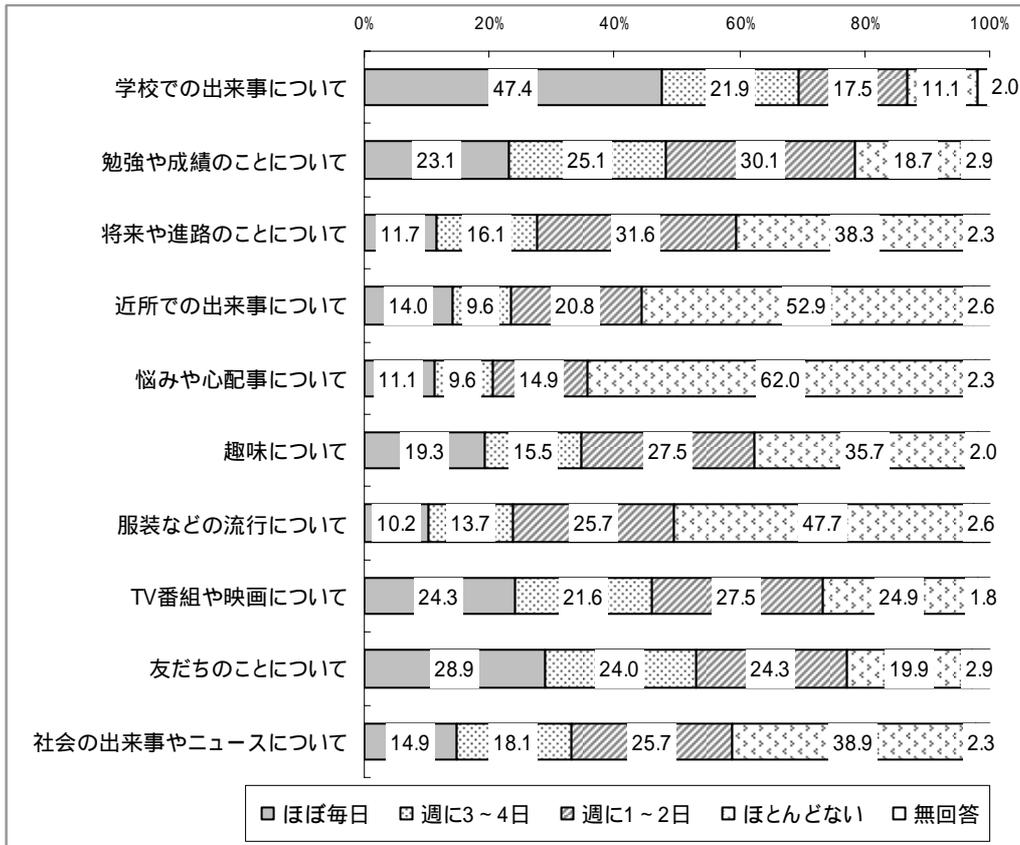
父親との会話の頻度について聞いたところ、いずれの内容も「ほぼ毎日」という人の割合は約1割以下となっています。「学校の出来事について」「勉強や成績のことについて」「趣味について」「TV番組や映画について」「社会の出来事やニュースについて」では、他の内容に比べて会話の頻度が高くなっています。一方、「近所での出来事について」「悩みや心配事について」「服装などの流行について」では会話の頻度が低くなっており、では、「ほとんどない」という人の割合が76.0%となっています。

母親との会話の頻度を聞いたところ、全体的に父親よりも頻度の高い人の割合が高くなっています。「学校の出来事について」「友だちのことについて」は、他の内容に比べても会話の頻度が高くなっており、では、「ほぼ毎日」という人の割合が47.4%となっています。一方、「近所での出来事について」「悩みや心配事について」では、会話の頻度が低くなっており、では、「ほとんどない」という人の割合が62.0%となっています。

図表 III-80 父親との会話の頻度[N=342]

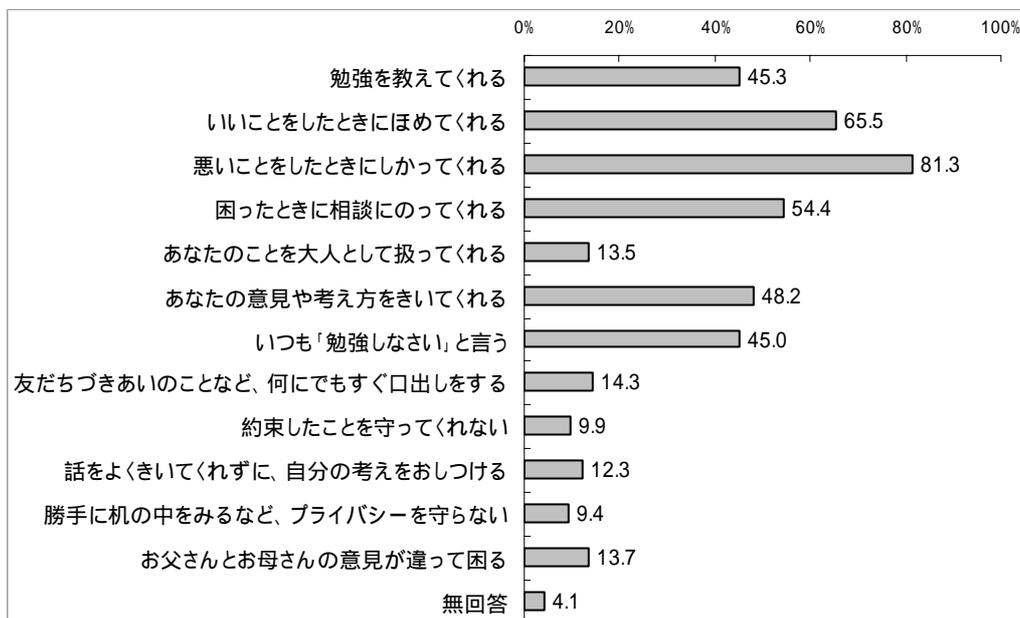


図表 III-81 母親との会話の頻度[N=342]



親との関係について聞いたところ、「悪いことをしたときにしかってくれる」という人の割合が最も高く 81.3%、次いで、「いいことをしたときにほめてくれる」(65.5%)、「困ったときに相談にのってくれる」(54.4%)の順に高い割合となっています。

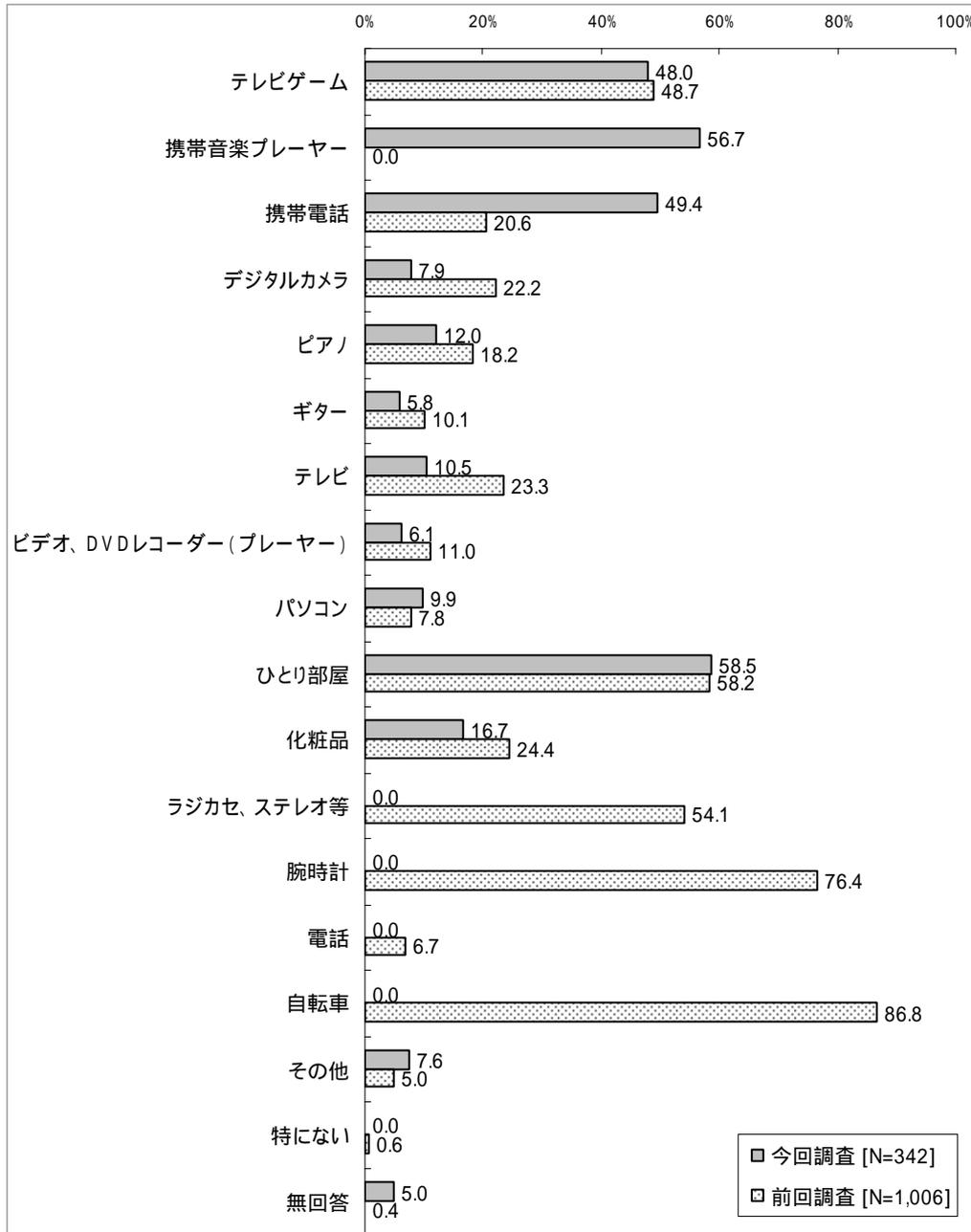
図表 III-82 親との関係[N=342 ; 複数回答]



(5) 自分専用のもの、おこづかいなど

自分専用を持っているものを聞いたところ、「ひとり部屋」(58.5%)、「携帯音楽プレーヤー」(56.7%)、「携帯電話」(49.4%)、「テレビゲーム」(48.0%)が高い割合となっています。前回調査と比較すると、比較可能な項目の中では、「携帯電話」の割合が28.8ポイント上昇しています。

図表 III-83 自分専用を持っているもの[複数回答]

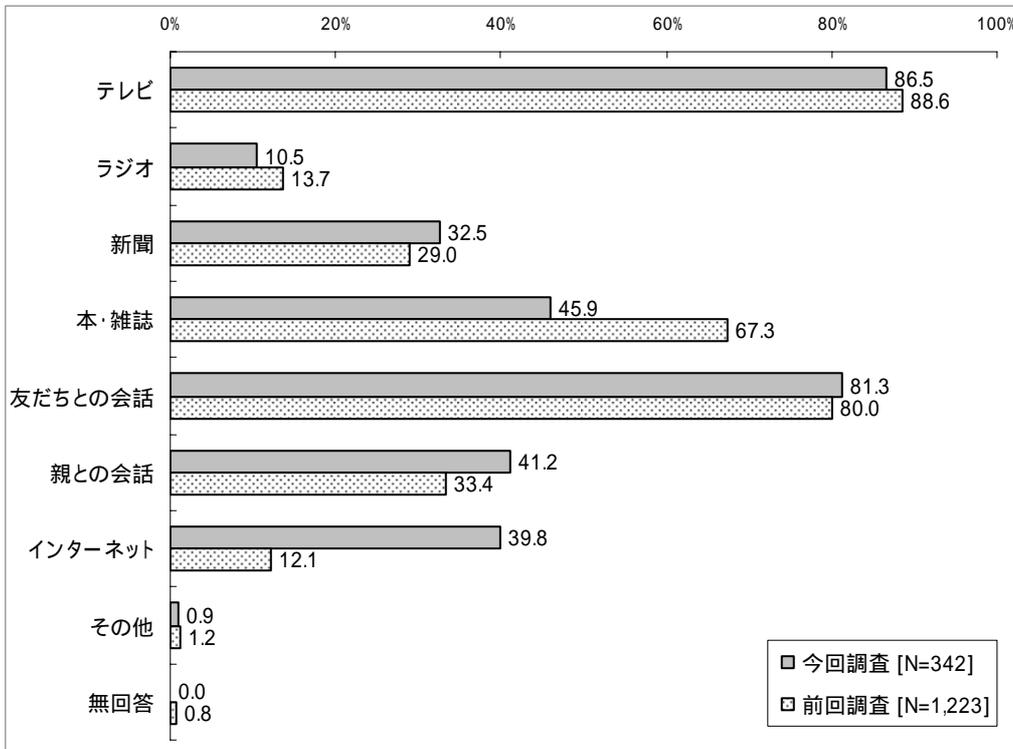


前回調査は、「デジタルカメラ」は「カメラ」、「ピアノ」は「ピアノ、キーボード」、「ビデオ、DVDレコーダー(プレーヤー)」は「ビデオデッキ」となっている。
 「携帯音楽プレーヤー」は今回調査のみの選択肢である。
 「ラジカセ、ステレオ等」「腕時計」「電話」「自転車」「その他」「特にない」は前回調査のみの選択肢である。

世の中の出来事や流行などの情報の入手方法を聞いたところ、「テレビ」(86.5%)、「友だちとの会話」(81.3%)の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「本・雑誌」という人の割合が21.4ポイント低下しており、「インターネット」という人の割合が27.7ポイント上昇しています。

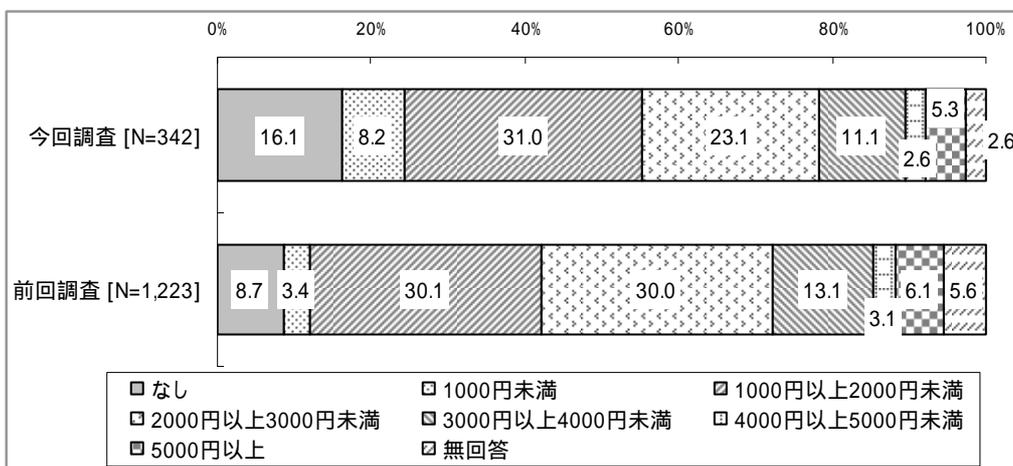
図表 III-84 世の中の出来事や流行などの情報の入手方法[複数回答]



1か月のおこづかいを聞いたところ、「1000円以上2000円未満」(31.0%)、「2000円以上3000円未満」(23.1%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、2000円以上の人の割合が低下しており、2000円未満の人の割合が上昇しています。

図表 III-85 1か月のおこづかい

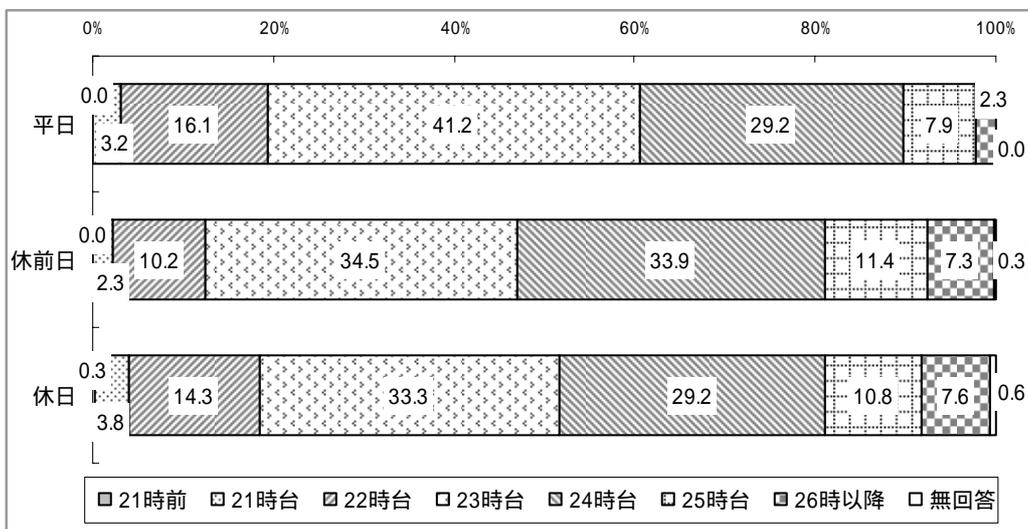


3. 普段の生活の様子

(1) 基本生活時間

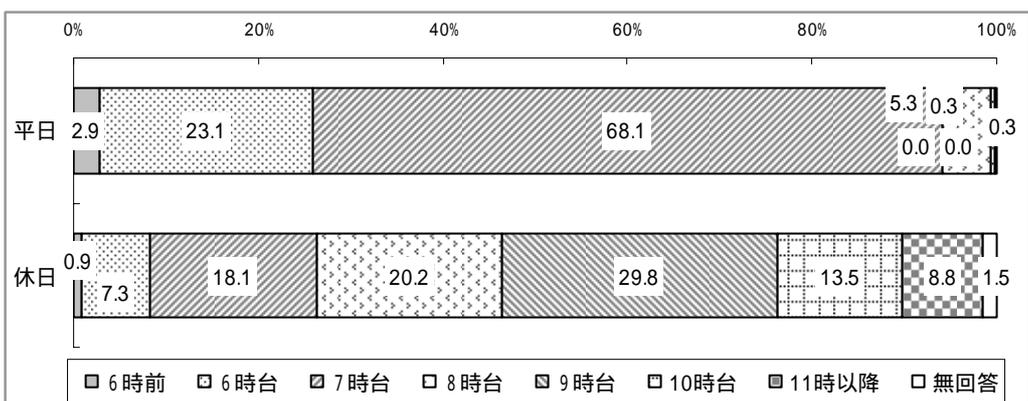
平日の就寝時間は、「23 時台」(41.2%)、「24 時台」(29.2%)の順に高い割合となっています。休前日の就寝時間は、「23 時台」(34.5%)、「24 時台」(33.9%)の順に高い割合となっています。休日の就寝時間は、「23 時台」(33.3%)、「24 時台」(29.2%)の順に高い割合となっています。休前日や休日では、平日に比べて就寝時間が遅くなっており、「26 時以降」の割合が平日では 2.3%であるのに対し、休前日では 7.3%、休日では 7.6%となっています。

図表 III-86 平日・休前日・休日の就寝時間[N=342]



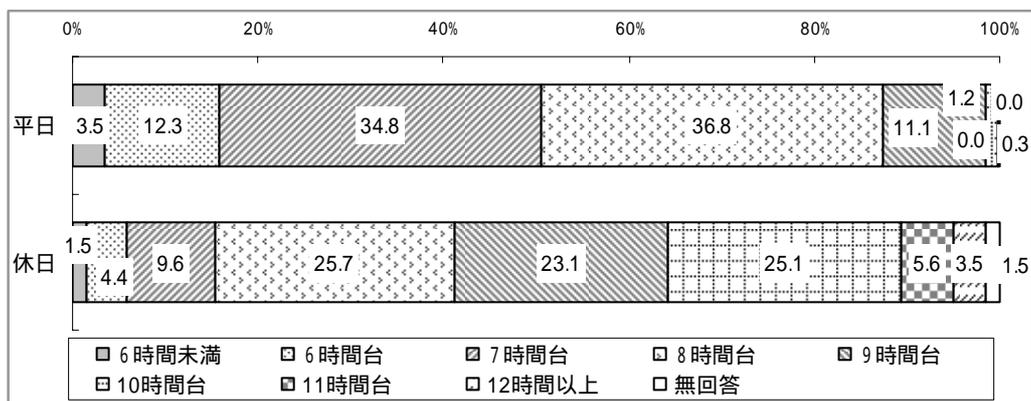
平日の起床時間は、「7 時台」の割合が最も高く 68.1%、次いで、「6 時台」の割合が高く 23.1%となっています。休日の起床時間は平日に比べて分散しており、割合の高い順に、「9 時台」(29.8%)、「8 時台」(20.2%)、「7 時台」(18.1%)となっています。休日は平日に比べて起床時間が遅くなっています。

図表 III-87 平日・休日の起床時間[N=342]



休日の睡眠時間は、「8時間台」(36.8%)と「7時間台」(34.8%)の割合が高くなっています。休日の睡眠時間は平日に比べて分散しており、割合の高い順に、「8時間台」(25.7%)、「10時間台」(25.1%)、「9時間台」(23.1%)となっています。休日は平日に比べて睡眠時間が長くなっており、「11時間台」という人の割合も5.6%となっています。

図表 III-88 平日・休日の睡眠時間[N=342]



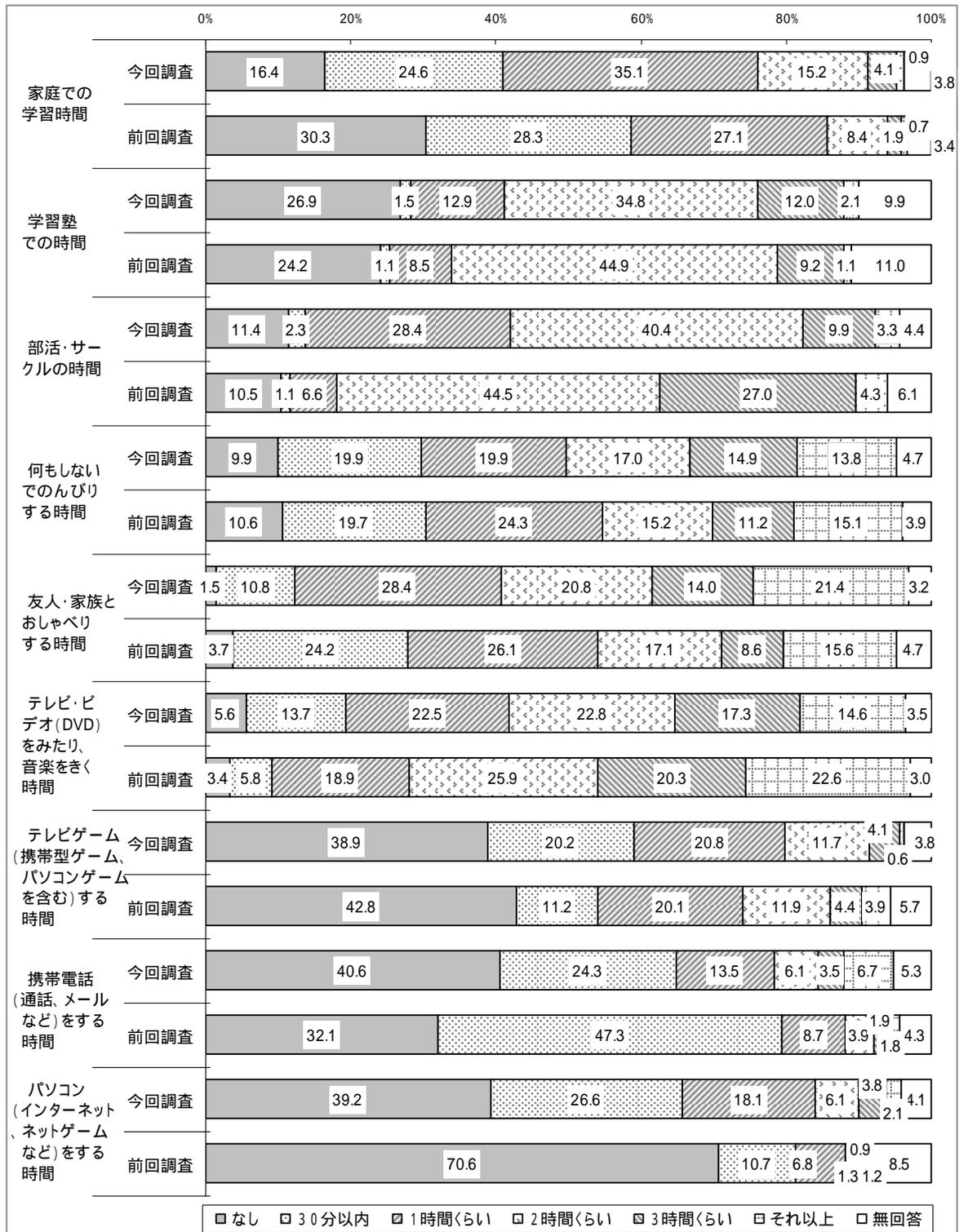
平日の勉強や遊びの時間を聞いたところ、割合の高い時間をみると、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)する時間」「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」では30分以内、「家庭での学習時間」「何もしないでのんびりする時間」では30分~1時間、「部活・サークルの時間」「友人・家族とおしゃべりする時間」「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」は1~2時間、「学習塾での時間」は2時間という人の割合が高くなっています。また、「それ以上」(3時間以上)という人の割合が高い項目としては、で、1~2割を占めています。

前回調査と比較すると、では全体的に時間が長くなっており、では全体的に時間が短くなっています。また、では、「2時間ぐらい」の割合は低下しているのに対し、「なし」「1時間ぐらい」「3時間ぐらい」の割合が上昇しています。では、「30分以内」の割合が低下しているのに対し、「なし」「1時間ぐらい」の割合が上昇しています。では費やす時間数が二極化していることが推察されます。

休日の勉強や遊びの時間を聞いたところ、割合の高い時間をみると、「学習塾での時間」はなし、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)する時間」「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」では30分以内、「家庭での学習時間」は1~2時間、「部活・サークルの時間」「何もしないでのんびりする時間」では3時間以上という人の割合が高くなっています。また、「友人・家族とおしゃべりする時間」「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」では、割合が比較的分散しています。

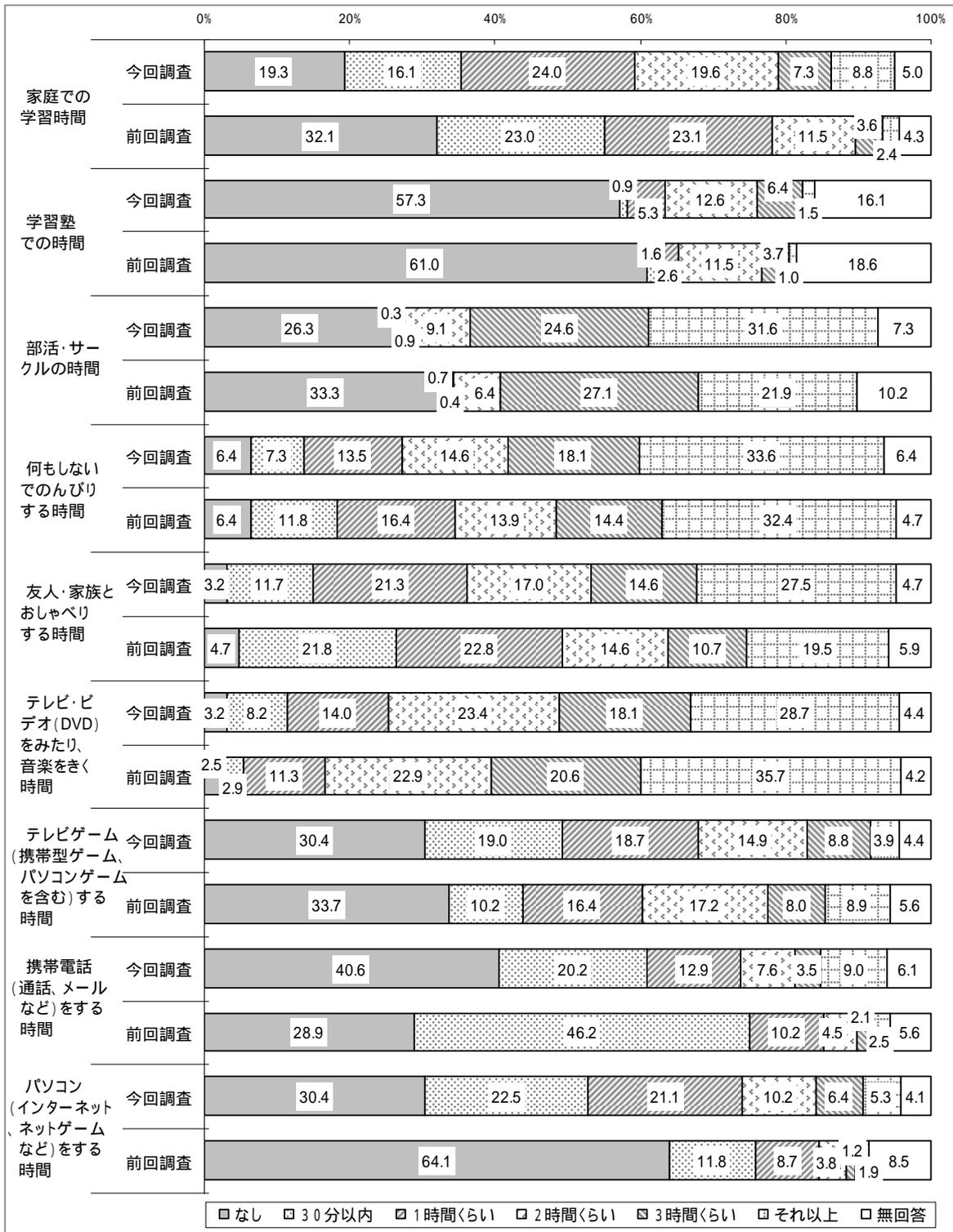
前回調査と比較すると、では全体的に時間が長くなっており、では全体的に時間が短くなっています。また、では、「なし」「2時間ぐらい」の割合は低下しているのに対し、「30分以内」「1時間ぐらい」の割合が上昇しています。では、「30分以内」の割合が低下しているのに対し、「なし」「1時間ぐらい」「2時間ぐらい」の割合が上昇しており、二極化していることが推察されます。

図表 III-89 平日の勉強や遊びの時間[今回調査 N=342、前回調査 N=1,223]



前回調査は、「家庭での勉強時間」は「勉強時間」、「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」は「テレビ・ビデオを見る時間」、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)する時間」は「テレビゲームをする時間」、「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」は「電話・携帯電話をしている時間」、「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」は「インターネットをしている時間」となっている。

図表 III-90 休日の勉強や遊びの時間[今回調査 N=342、前回調査 N=1,223]



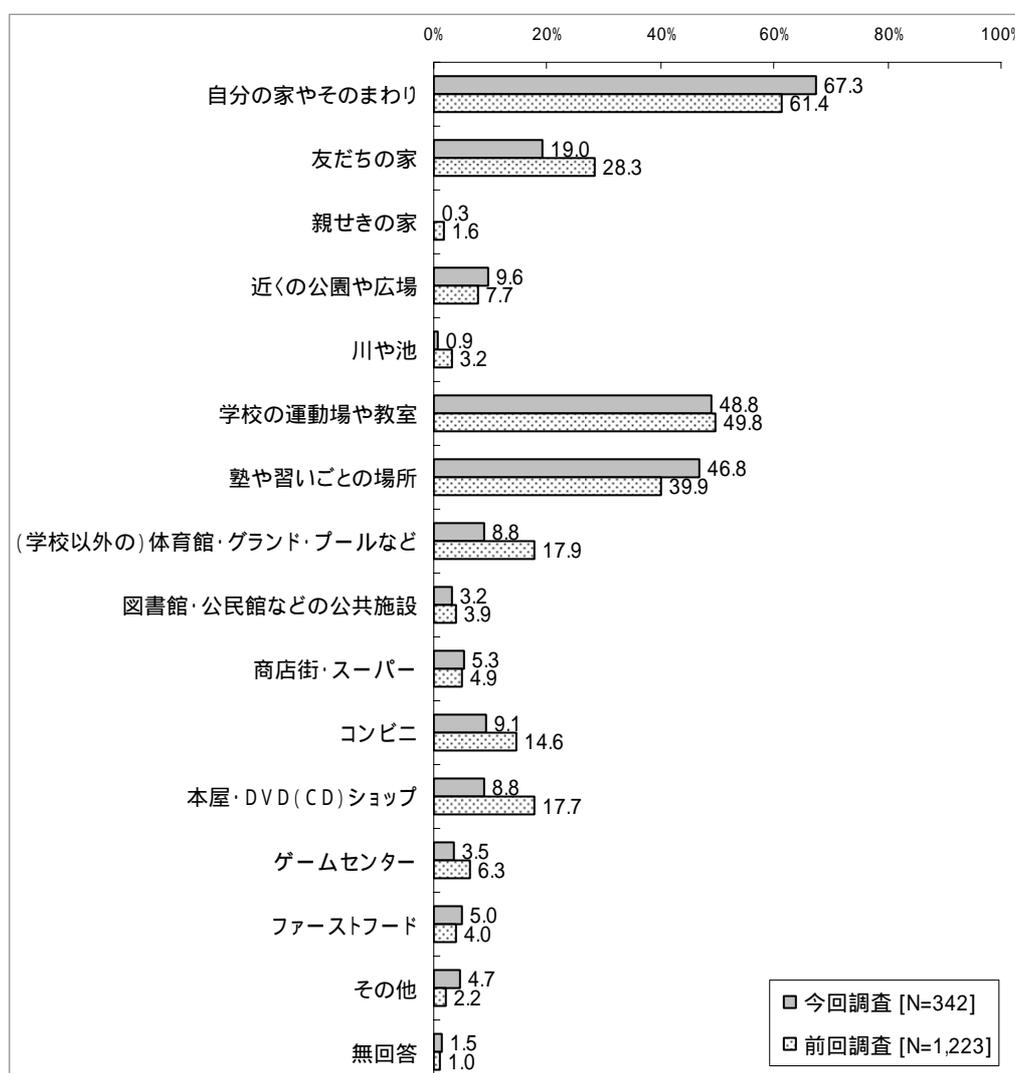
前回調査は、「家庭での勉強時間」は「勉強時間」、「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」は「テレビ・ビデオを見る時間」、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)する時間」は「テレビゲームをする時間」、「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」は「電話・携帯電話をしている時間」、「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」は「インターネットをしている時間」となっている。

(2) 平日の放課後の過ごし方

平日の放課後にいる場所を聞いたところ、「自分の家やそのまわり」という人の割合がもっとも高く 67.3%、次いで、「学校の運動場や教室」(48.8%)、「塾や習いごとの場所」(46.8%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「自分の家やそのまわり」という人の割合が 5.9 ポイント上昇しています。また、「友だちの家」(-9.3 ポイント)、「(学校以外の)体育館・グラウンド・プールなど」(-9.1 ポイント)、「塾や習いごとの場所」(-8.9 ポイント)という人の割合が低下しています。

図表 III-91 平日の放課後にいる場所[複数回答]

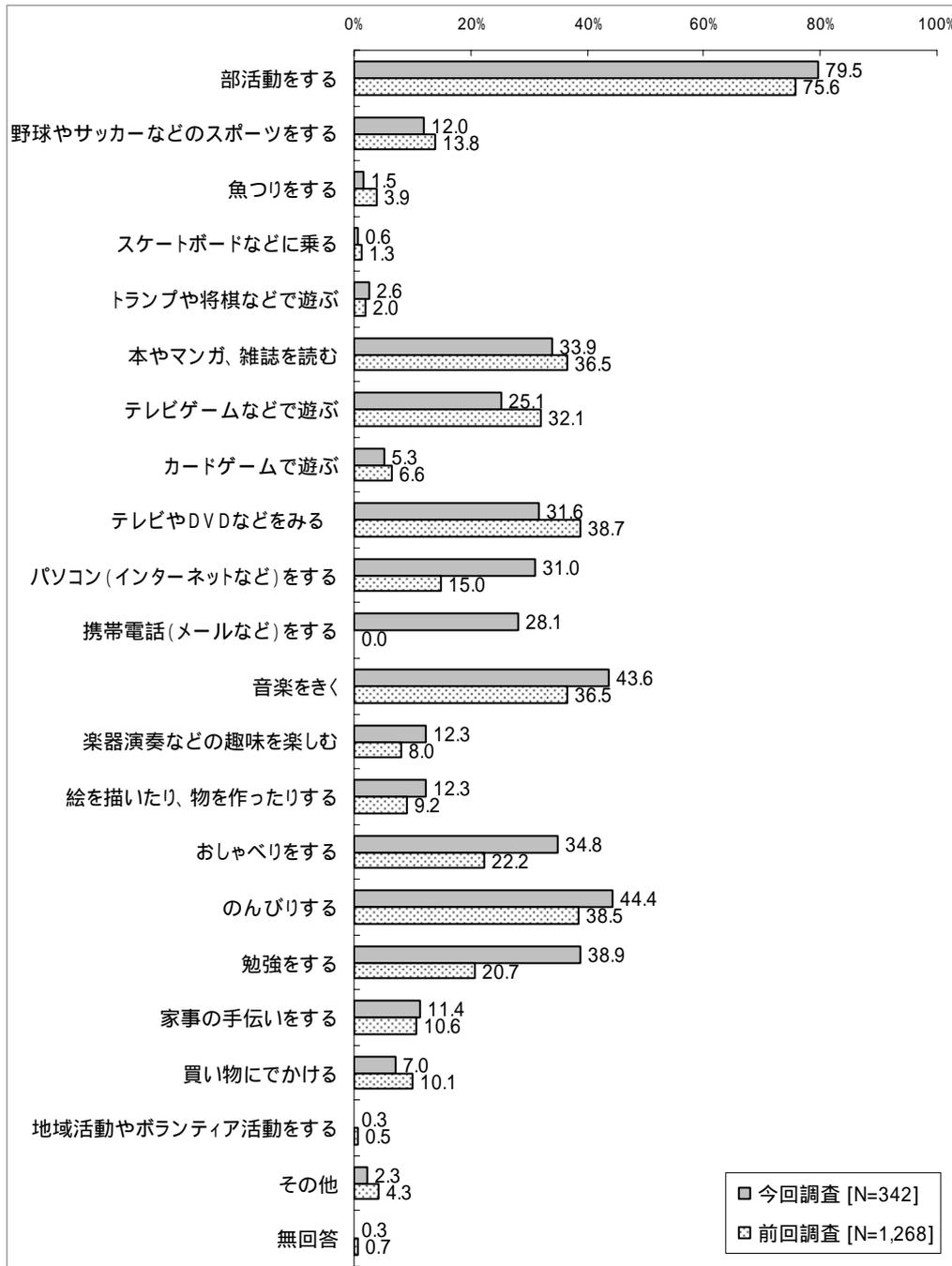


前回調査では、「近くの公園や広場」は「公園や広場」、「学校の運動場や教室」は「学校の運動場・体育館・教室」、「(学校以外の)体育館・グラウンド・プールなど」は「体育館・グラウンド・プールなど」、「書店・DVD(CD)ショップ」は「本屋・ビデオ店」となっている。

平日の放課後にしていることを聞いたところ、「部活動をする」という人の割合が最も高く79.5%、次いで、「のんびりする」(44.4%)、「音楽をきく」(43.6%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「パソコン(インターネットなど)をする」(+16.0ポイント)、「おしゃべりをする」(+12.6ポイント)、「勉強をする」(+18.2ポイント)等の割合が上昇しています。

図表 III-92 平日の放課後にしていること[複数回答]

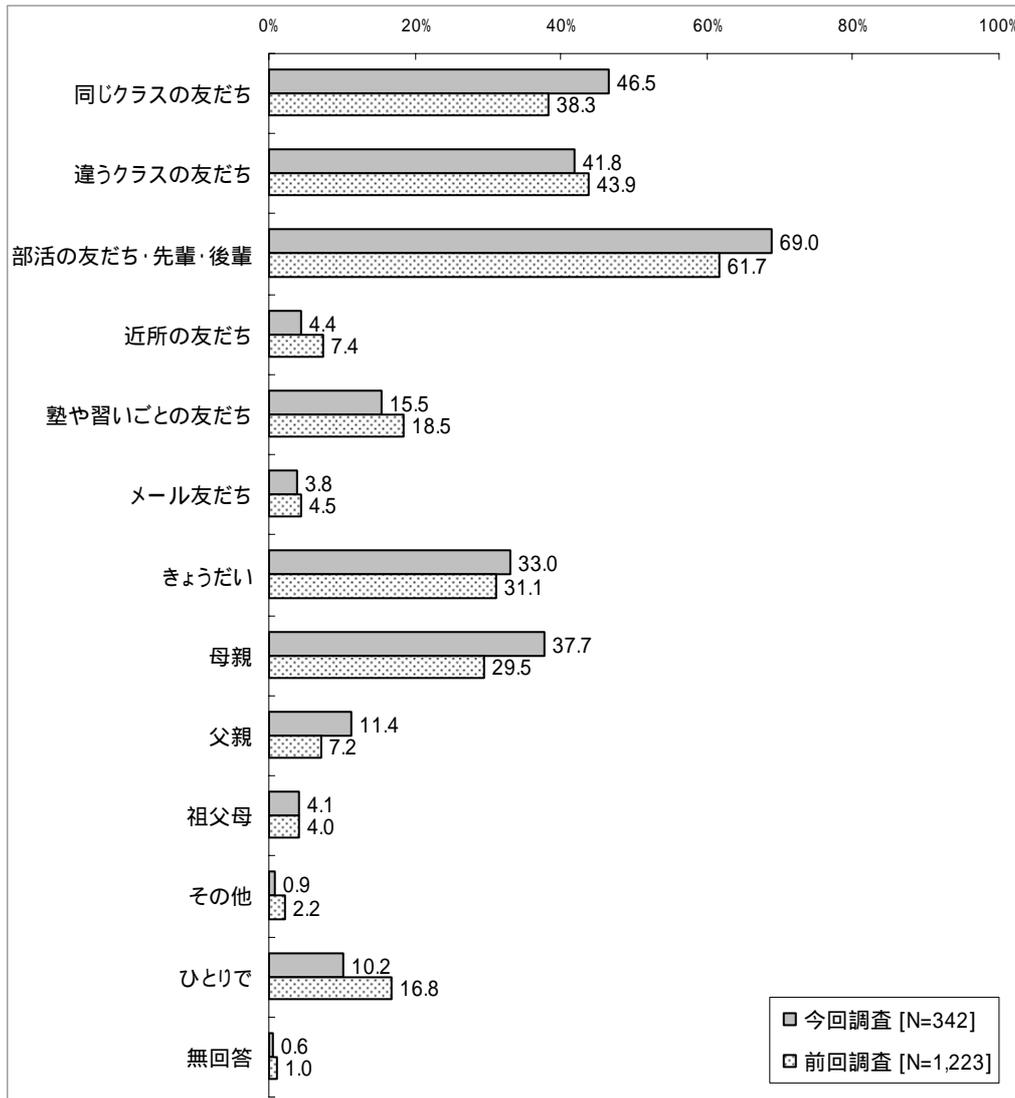


前回調査では、「スケートボードなどに乗る」は「キックボード、スケートボードに乗る」、「パソコン(インターネットなど)をする」は「パソコン(インターネットやメール)をする」となっている。「携帯電話(メールなど)をする」は今回調査のみの選択肢である。

平日の放課後に一緒にいる人を聞いたところ、「部活の友だち・先輩・後輩」という人の割合が最も高く 69.0%、次いで、「同じクラスの友だち」(46.5%)、「違うクラスの友だち」(41.8%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「同じクラスの友だち」(+8.2ポイント)、「部活の友だち・先輩・後輩」(+7.3ポイント)、「母親」(+8.2ポイント)の割合が上昇しており、「ひとりで」の割合が6.6ポイント低下しています。

図表 III-93 平日の放課後に一緒にいる人[複数回答]

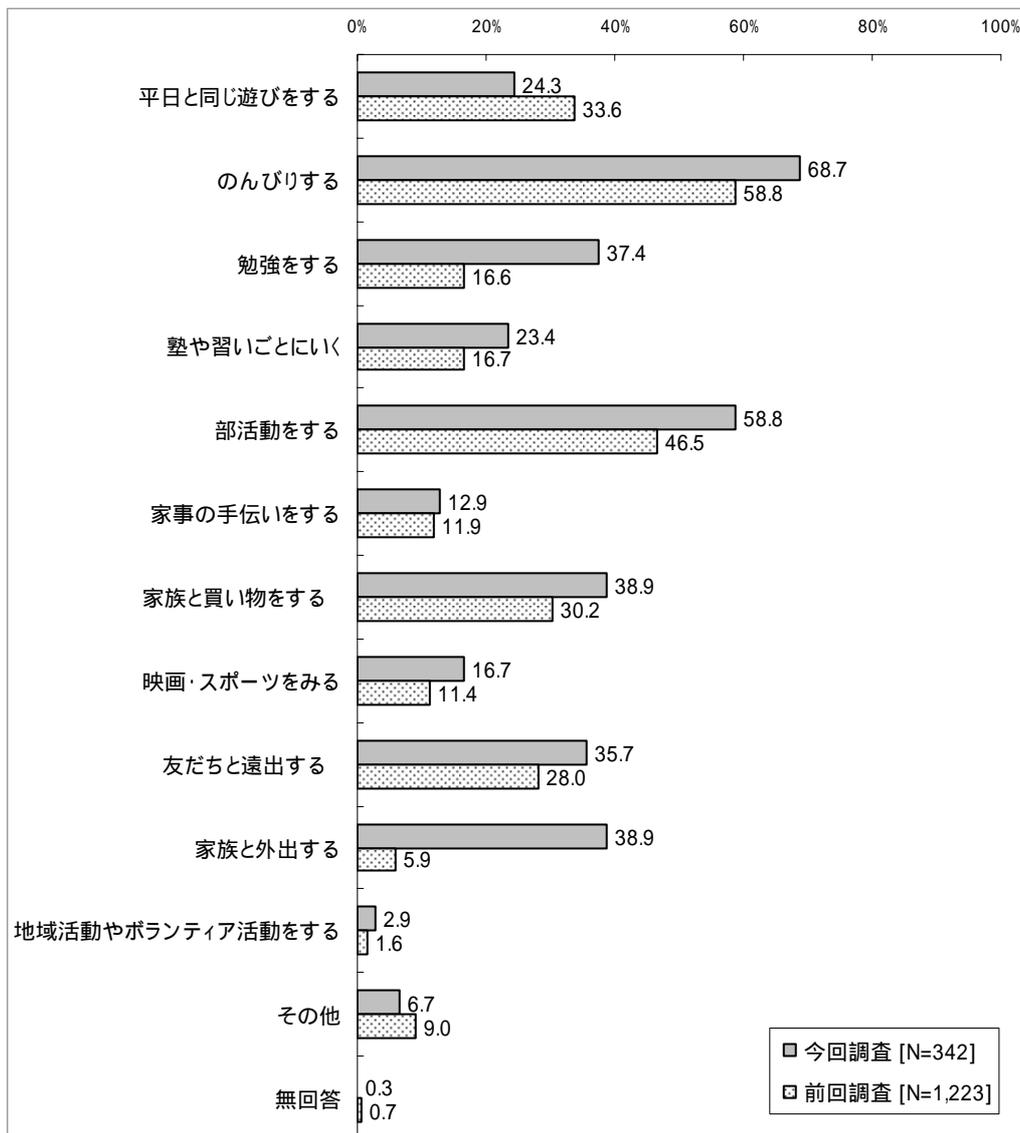


(3) 休みの日の過ごし方

休みの日の過ごし方を聞いたところ、「のんびりする」(68.7%)、「部活動をする」(58.8%)の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「平日と同じ遊びをする」という人の割合は低下しているのに対し、それ以外の過ごし方では割合が上昇しており、特に、「勉強をする」「部活動をする」「家族と外出する」という人の割合が上昇しています。

図表 III-94 休みの日の過ごし方[複数回答]

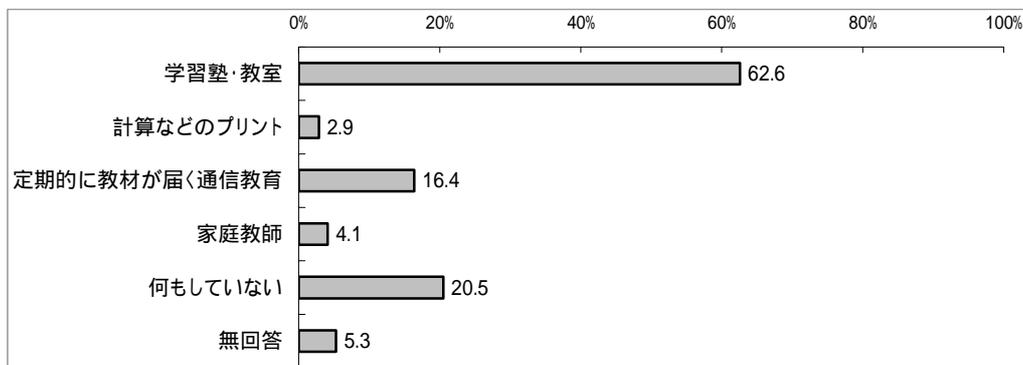


前回調査では、「家族と買い物をする」は「買い物をする」、「家族と外出する」は「家族とハイキングや旅行に出かける」となっている。

(4) 塾や習いごと

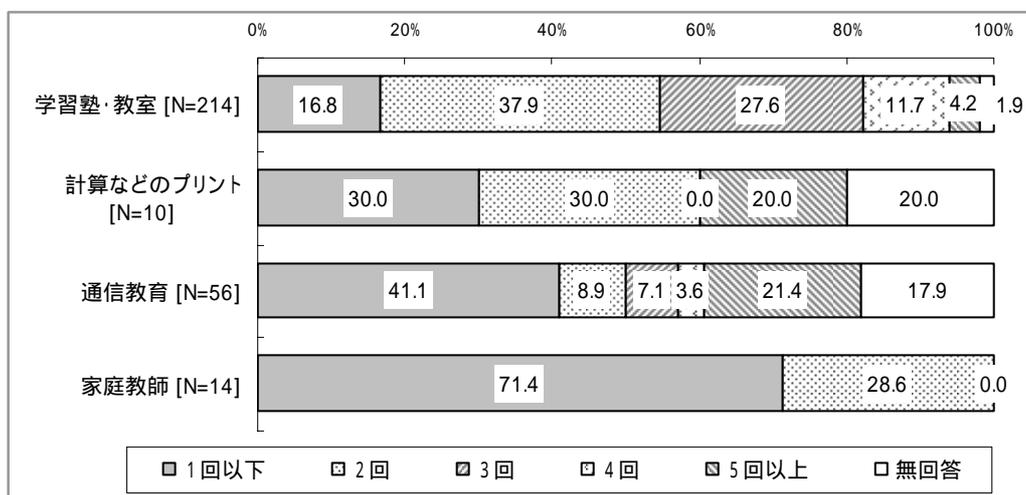
塾や通信教育をしているか聞いたところ、「学習塾・教室」という人の割合が最も高く62.6%、次いで、「何もしていない」という人の割合が高く20.5%となっています。

図表 III-95 塾や通信教育をしているか[N=342；複数回答]



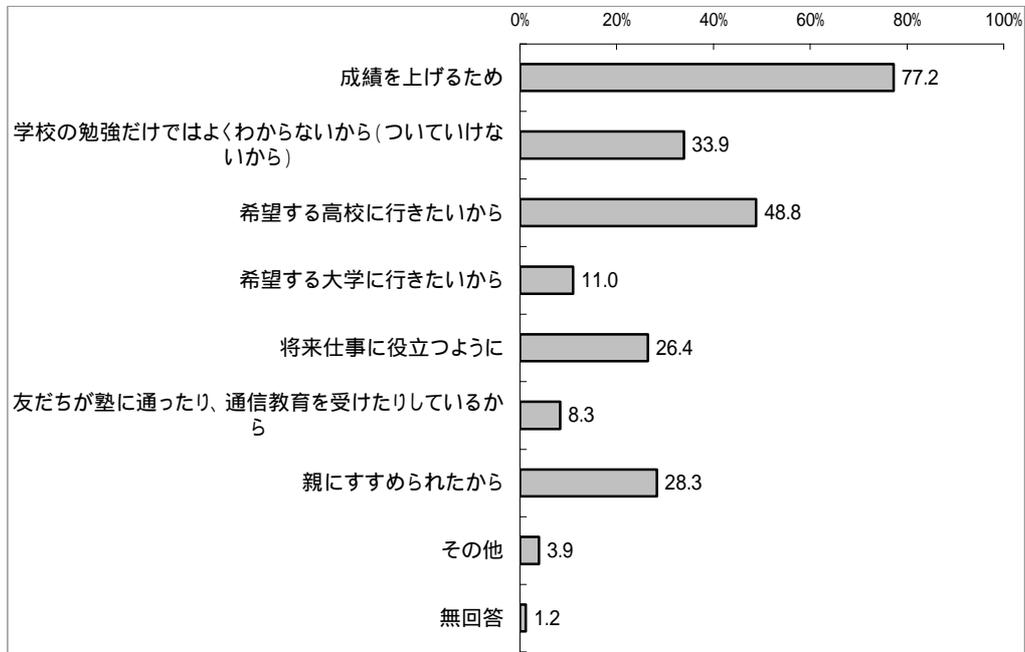
それぞれの塾や通信教育をしていると回答した人に、1週あたりの回数を聞いたところ、「学習塾・教室」では、「2回」(37.9%)、「3回」(27.6%)の順に高い割合、「通信教育」では、「1回以下」(41.1%)、「5回以上」(21.4%)の順に高い割合となっています。

図表 III-96 塾や通信教育の1週あたりの回数



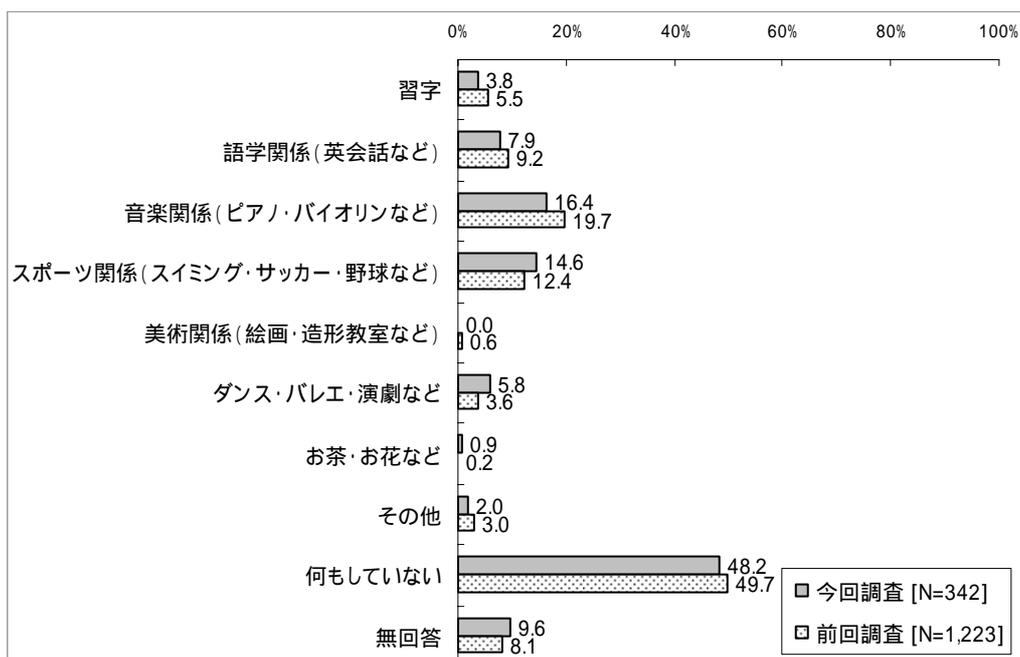
塾や通信教育をする理由を聞いたところ、「成績を上げるため」という人の割合が最も高く 77.2%、次いで、「希望する高校に行きたいから」という人の割合が高く 48.8%となっています。

図表 III-97 塾や通信教育をする理由[N=254 ; 複数回答]



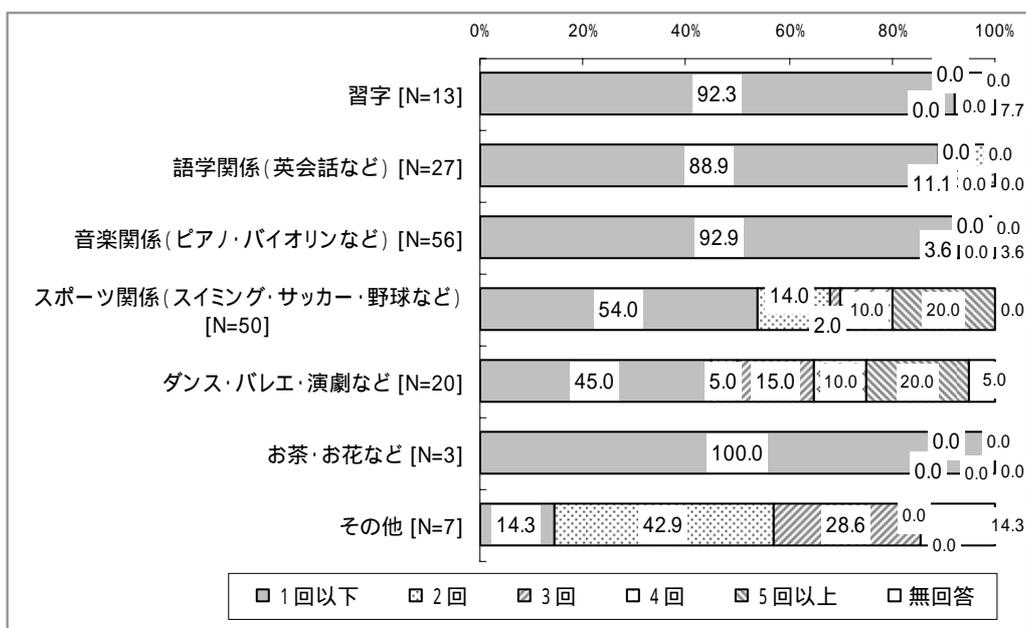
塾以外の習いごとをしているか聞いたところ、「何もしていない」という人の割合が最も高く 48.2%となっています。何らかの習いごとをしている人の中では、「音楽関係(ピアノ・バイオリンなど)」の割合が最も高く 16.4%となっています。

図表 III-98 塾以外の習いごとをしているか[N=342 ; 複数回答]



塾以外の習いごとをしていると回答した人に、1週あたりの回数を聞いたところ、「習字」「語学関係(英会話など)」「音楽関係(ピアノ・バイオリンなど)」では、「1回以下」が大半となっています。「スポーツ関係(スイミング・野球・サッカーなど)」「ダンス・バレエ・演劇など」では、回数が分散しており、「5回以上」という人も2割となっています。

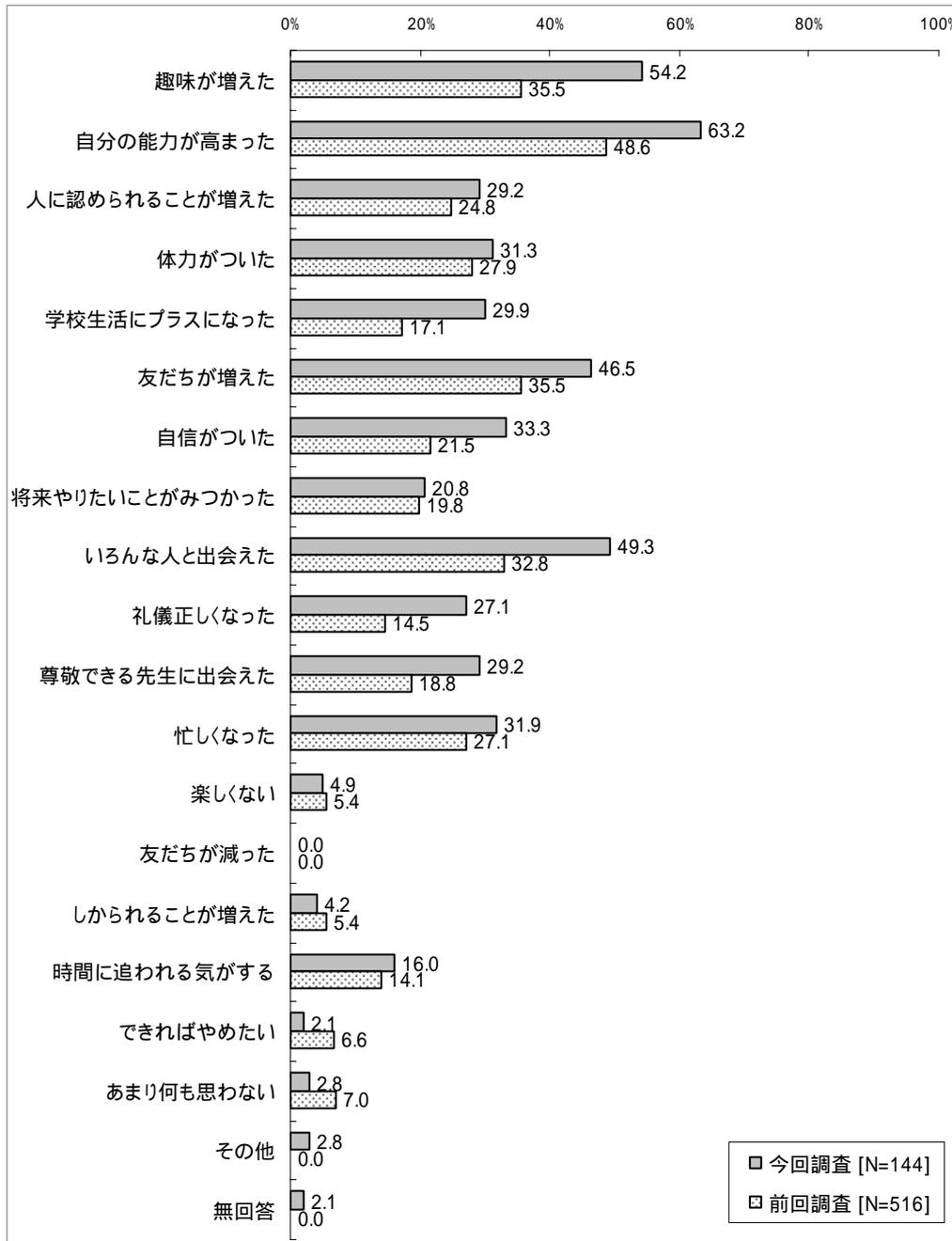
図表 III-99 塾以外の習いごとの1週あたりの回数



習いごとをして思うことを聞いたところ、「自分の能力が高まった」という人の割合が最も高く63.2%、次いで、「趣味が増えた」(54.2%)、「いろんな人と出会えた」(49.3%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、メリットを感じている内容は上昇しており、デメリットを感じている内容は低下していますが、「忙しくなった」という人の割合は4.8ポイント上昇しています。

図表 III-100 習いごとをして思うこと[複数回答]



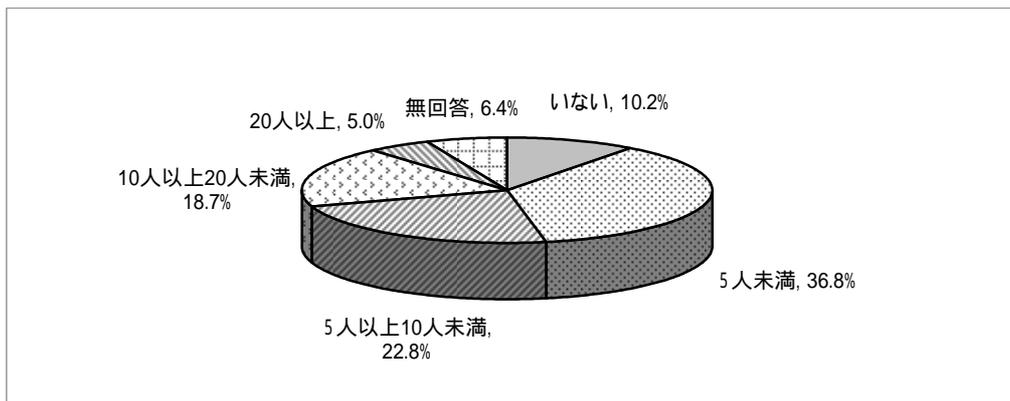
前回調査は、「その他」と無回答を除いた集計結果である。

4 . 友人関係

(1) 何でも話せる友だちの人数

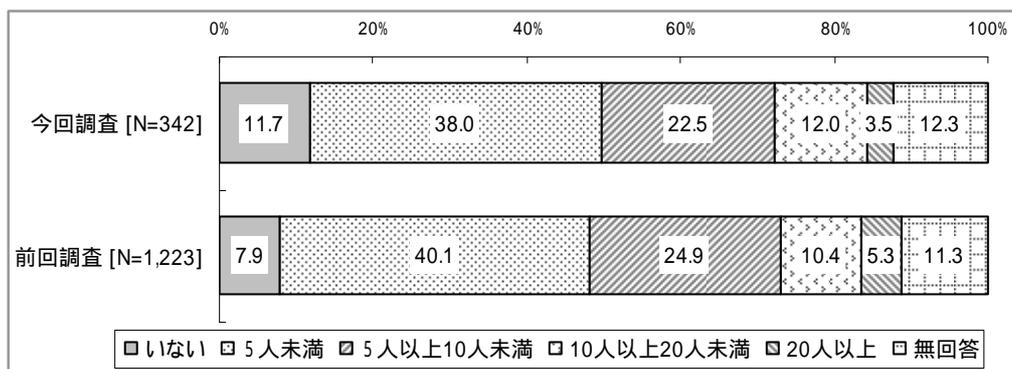
悩みごとや自分が話したいことなど何でも話せる友だちの人数を聞いたところ、「5人未満」(36.8%)、「5人以上10人未満」(22.8%)の順に高い割合となっています。

図表 III-101 悩みごとや自分が話したいことなど何でも話せる友だちの人数[N=342]



うち、同性の友だちの人数は、「5人未満」(38.0%)、「5人以上10人未満」(22.5%)の順に高い割合となっています。前回調査と比較すると、「いない」「10人以上20人未満」の割合が上昇しており、「5人未満」「5人以上10人未満」の割合が低下しています。

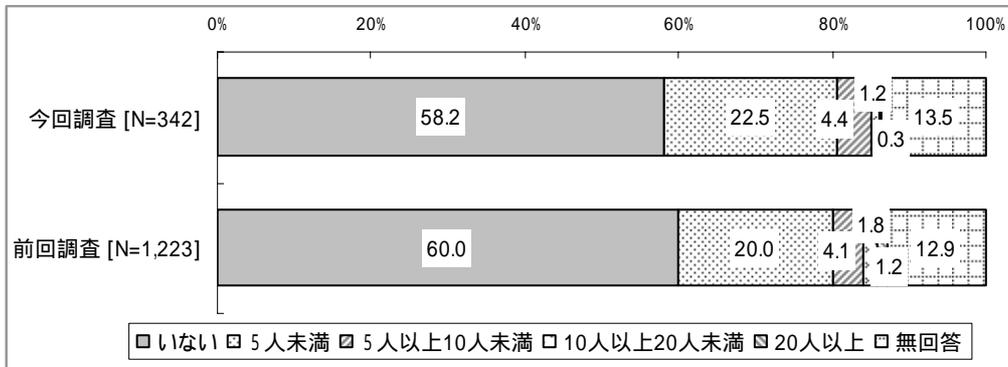
図表 III-102 何でも話せる同性の友だちの人数



「何でも話せる同性の友だちの人数」は、前回調査のみの設問であるため、前問の「何でも話せる友だちの人数」から、次問の「うち、異性の友だちの人数」を差し引いたものを、今回調査の集計結果としている。

また、異性の友だちの人数は、「いない」の割合が最も高く 58.2%、次いで「5人未満」の割合が高く 22.5%となっています。

図表 III-103 何でも話せる異性の友だちの人数

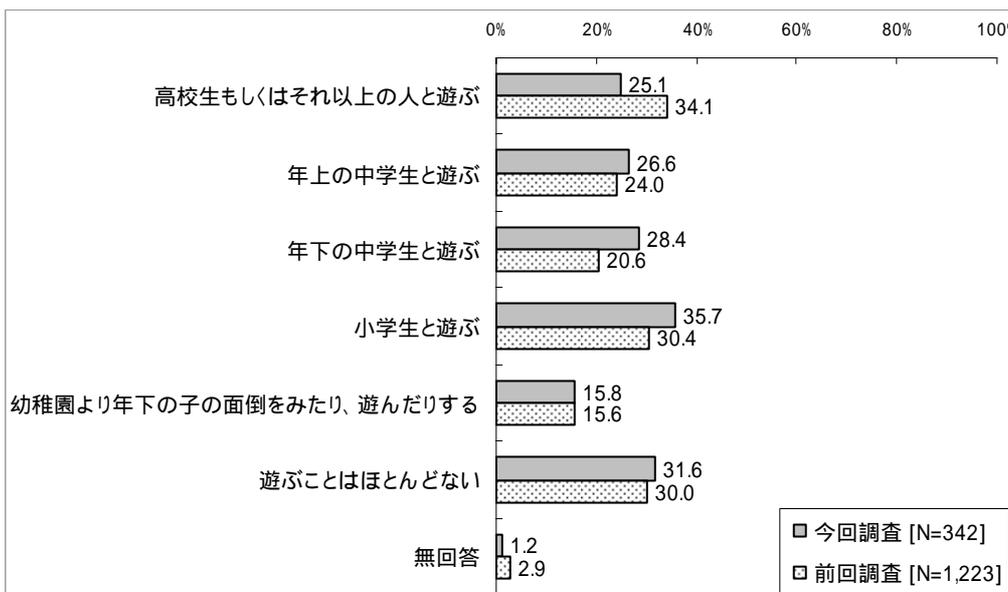


(2) 年齢の異なる子とのかかわり

学年のちがう子と遊ぶことがあるかを聞いたところ、「小学生と遊ぶ」(35.7%)、「遊ぶことはほとんどない」(31.6%)、「年下の中学生と遊ぶ」(28.4%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「高校生もしくはそれ以上の人と遊ぶ」という人の割合が 9.0ポイント低下しており、「年下の中学生と遊ぶ」(+7.8ポイント)、「小学生と遊ぶ」(+5.3ポイント)という人の割合が上昇しています。

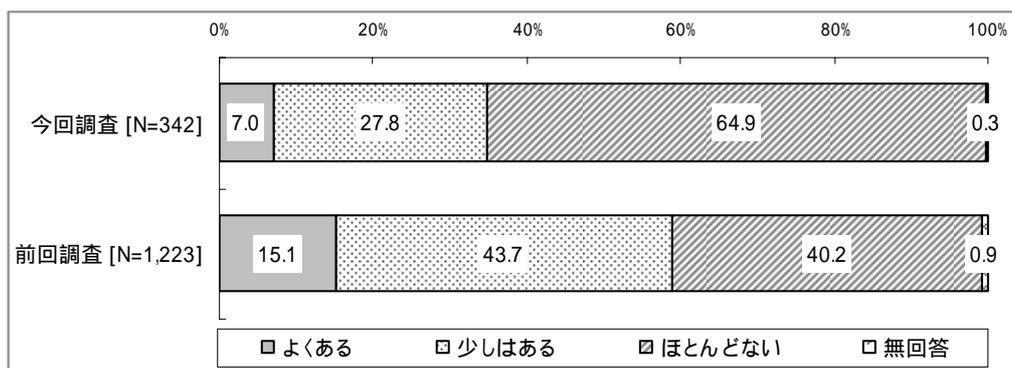
図表 III-104 学年のちがう子と遊ぶことがあるか[N=342；複数回答]



赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりすることがあるか聞いたところ、「ほとんどない」という人の割合が最も高く 64.9%、次いで、「少しはある」という人の割合が高く 27.8% となっています。

前回調査と比較すると、経験のある人の割合が低下しており、「ほとんどない」という人の割合が 24.7 ポイント上昇しています。

図表 III-105 赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりすることがあるか

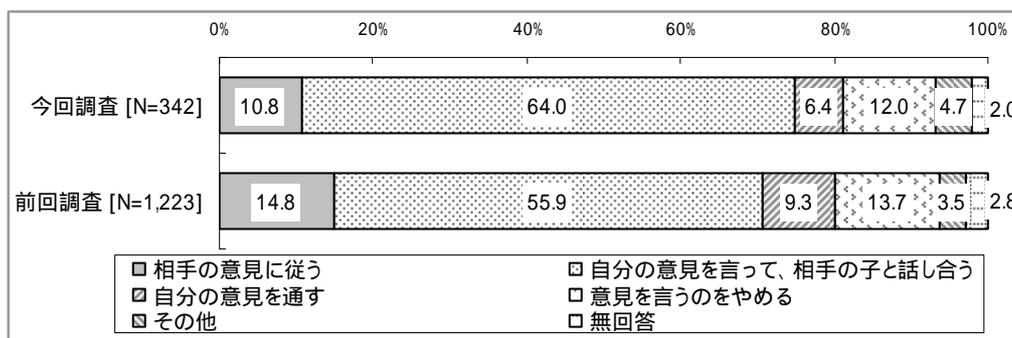


(3) 友だちとの付き合い方

他の子と意見があわない時の対処方法を聞いたところ、「自分の意見を言って、相手の子と話し合う」という人の割合が最も高く 64.0%、次いで、「意見を言うのをやめる」という人の割合が高く 12.0% となっています。

前回調査と比較すると、「相手の意見に従う」という人の割合は 4.0 ポイント低下しており、「自分の意見を言って、相手の子と話し合う」という人の割合は 8.1 ポイント上昇しています。

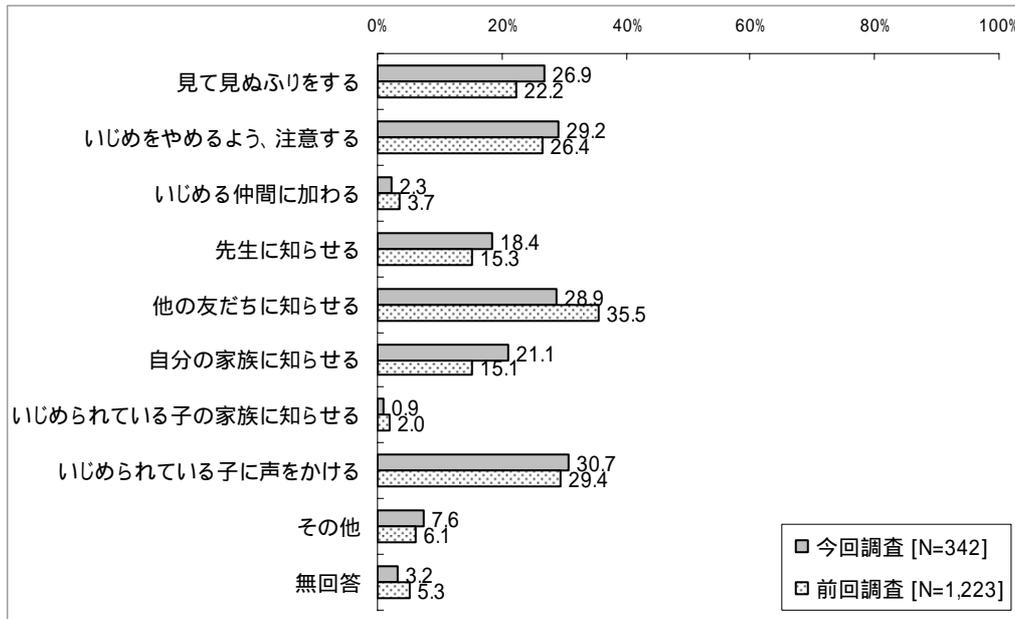
図表 III-106 他の子と意見があわない時の対処方法



いじめを見たときの対処方法を聞いたところ、「いじめられている子に声をかける」(30.7%)、「いじめをやめるよう、注意する」(29.2%)、「他の友だちに知らせる」(28.9%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「見て見ぬふりをする」(+4.7ポイント)、「自分の家族に知らせる」(+6.0ポイント)という人の割合が上昇しており、「他の友だちに知らせる」という人の割合が6.6ポイント低下しています。

図表 III-107 いじめを見たときの対処方法[N=342；複数回答]



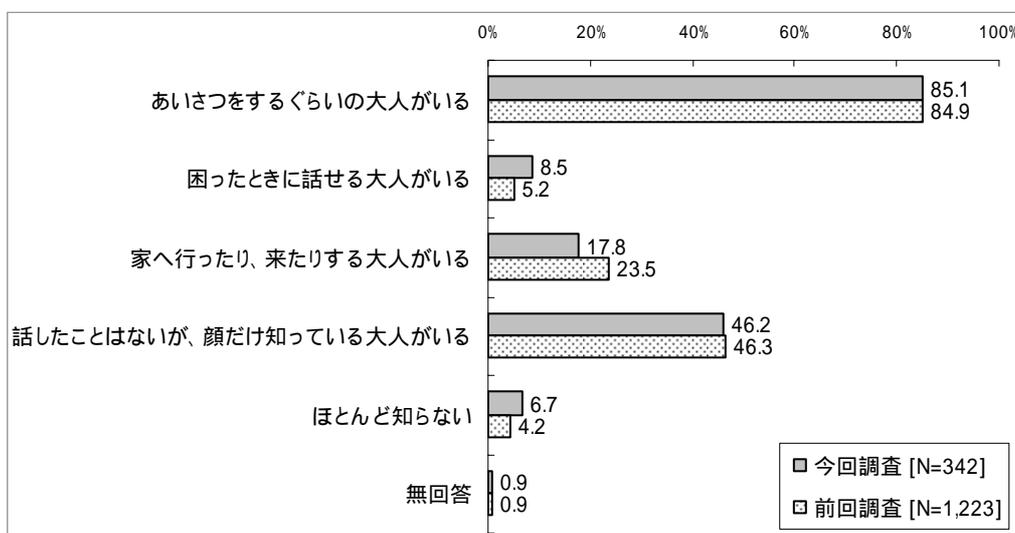
5 . 地域での様子

(1) 地域の大人とのかかわり

近所に知っている大人がいるか聞いたところ、「あいさつをするぐらいの大人がいる」という人の割合が最も高く 85.1%、次いで、「話したことはないが、顔だけ知っている大人がいる」という人の割合が高く 46.2%となっています。

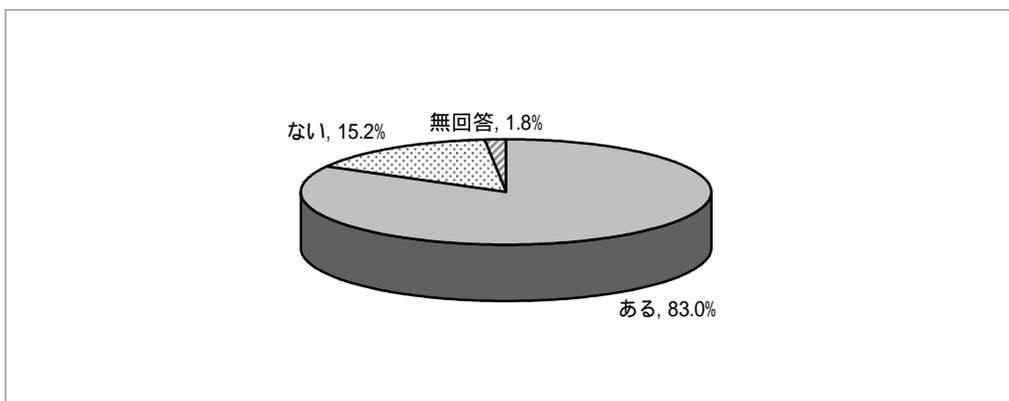
前回調査と比較すると、「家に行ったり、来たりする大人がいる」という人の割合が 5.7ポイント低下しています。

図表 III-108 近所に知っている大人がいるか[複数回答]



親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことがあるかを聞いたところ、「ある」という人は 83.0%、「ない」という人は 15.2%となっています。

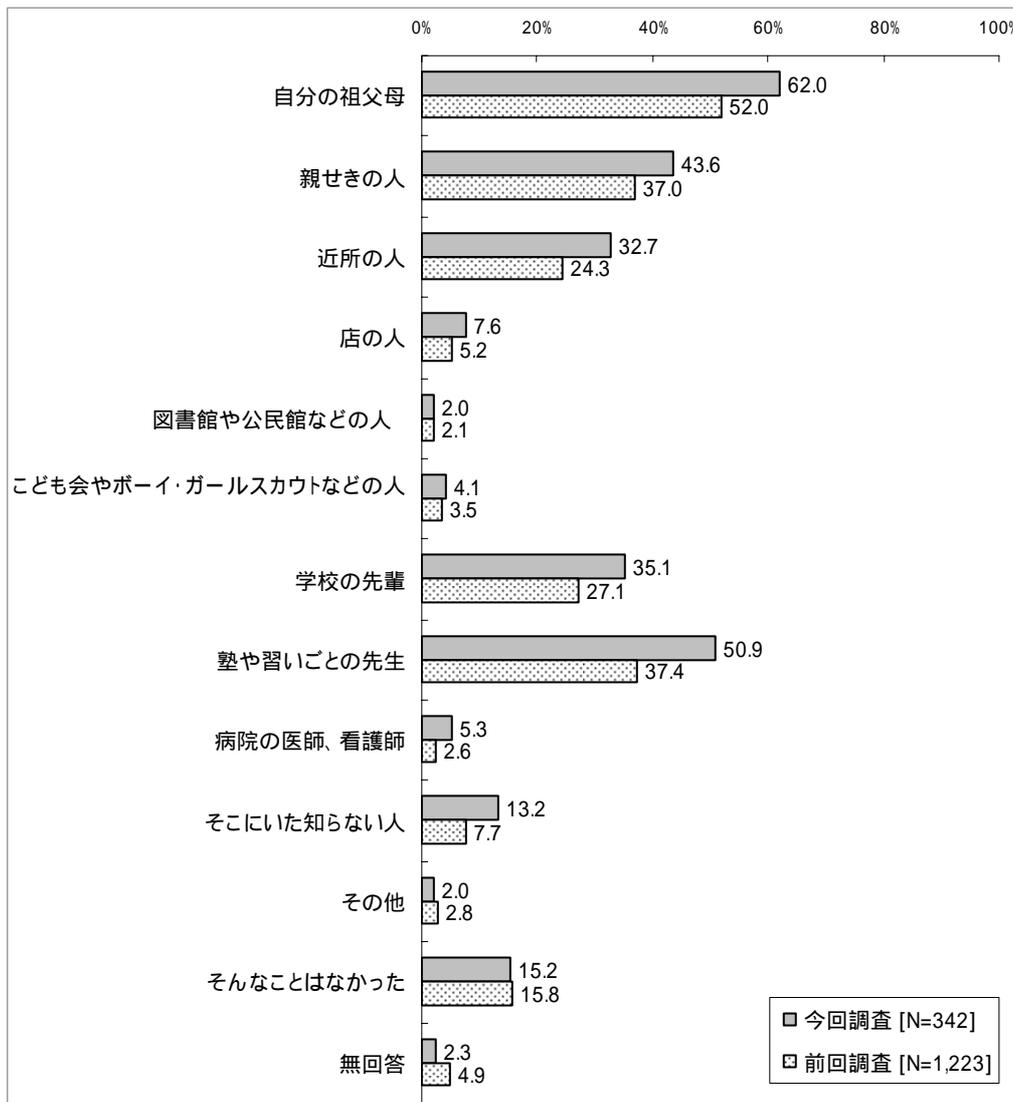
図表 III-109 親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことがあるか[N=342]



親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことが「ある」と回答した人に、ほめられた人を聞いたところ、「自分の祖父母」(62.0%)、「塾や習いごとの先生」(50.9%)、「親せきの人」(43.6%)が高い割合となっています。

前回調査と比較すると、全体的に割合が上昇しており、特に、「自分の祖父母」(+10.0ポイント)、「塾や習いごとの先生」(+13.5ポイント)の割合が上昇しています。

図表 III-110 ほめられた人[N=284 ; 複数回答]

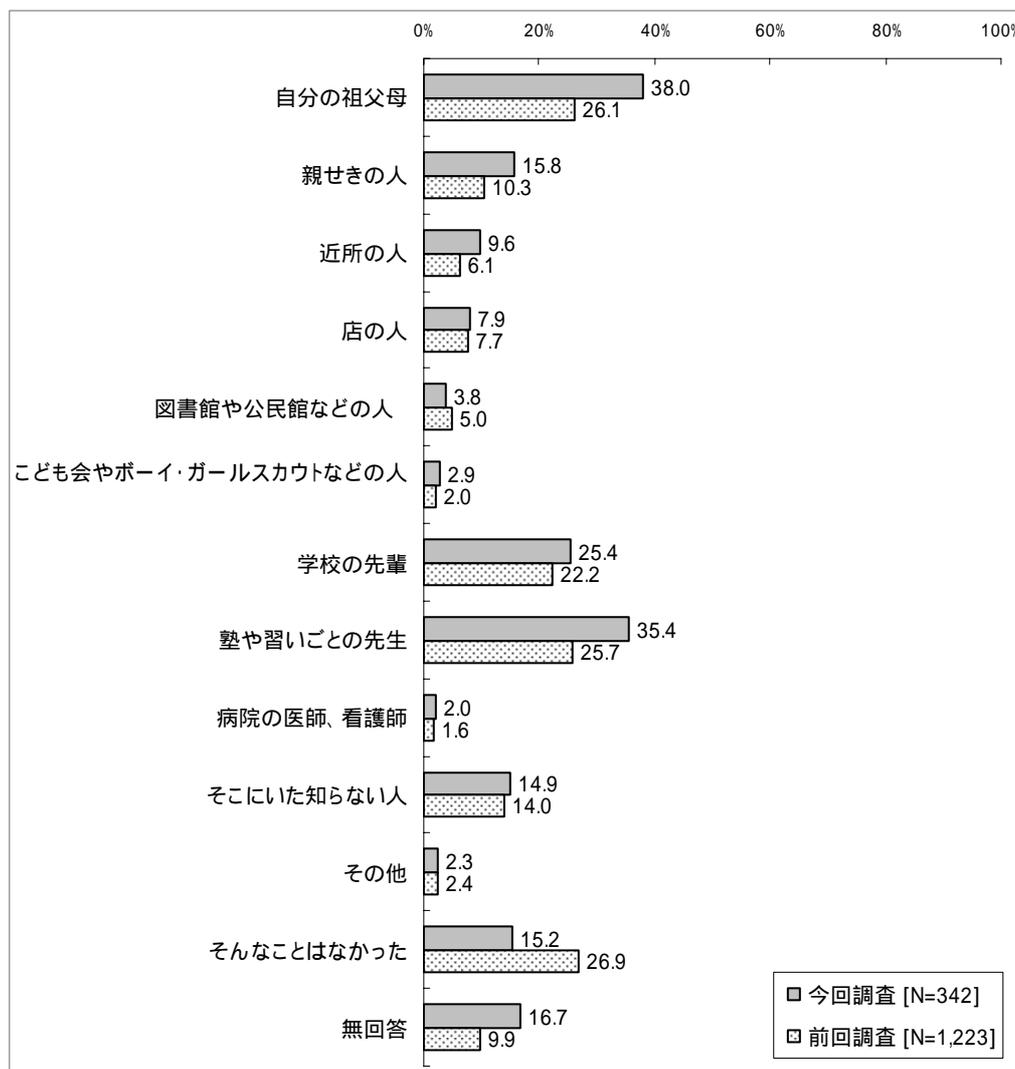


「そんなことはなかった」は前回調査のみの選択肢である。
 今回調査の集計結果は、前問で、親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことが「ない」と回答した人数を「そんなことはなかった」の実数とし、すべての選択肢について全体のサンプル数 342 に占める割合で集計している。

親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことが「ある」と回答した人に、しかられた人を聞いたところ、「自分の祖父母」(38.0%)、「塾や習いごとの先生」(35.4%)、「学校の先輩」(25.4%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「そんなことはなかった」の割合は11.7ポイント低下し、「自分の祖父母」(+11.9ポイント)、「塾や習いごとの先生」(+9.7ポイント)の割合は上昇しています。

図表 III-111 しかられた人[複数回答]

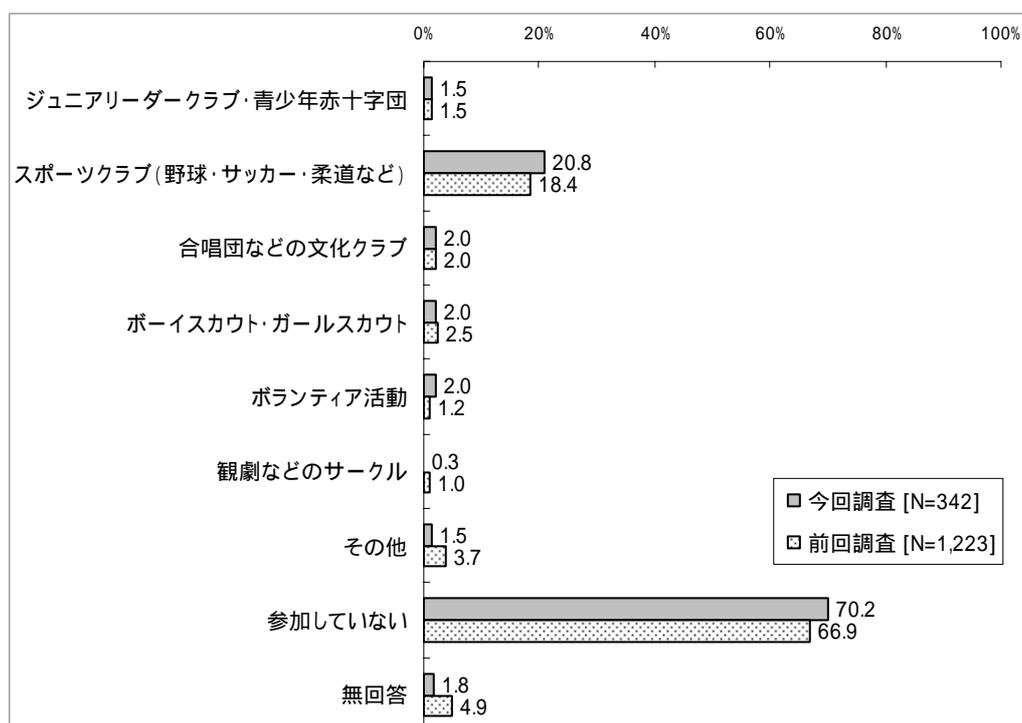


「そんなことはなかった」は前回調査のみの選択肢である。
 今回調査の集計結果は、前問で、親や学校の先生以外の人にほめられたり、しかられたことが「ない」と回答した人数を「そんなことはなかった」の実数とし、すべての選択肢について全体のサンプル数 342 に占める割合で集計している。

(2) 地域活動への参加状況

現在、参加している活動を聞いたところ、「参加していない」という人の割合が最も高く70.2%となっています。参加している人の中では、「スポーツクラブ(野球・サッカー・柔道など)」という人の割合が高く20.8%となっています。

図表 III-112 現在、参加している活動[複数回答]

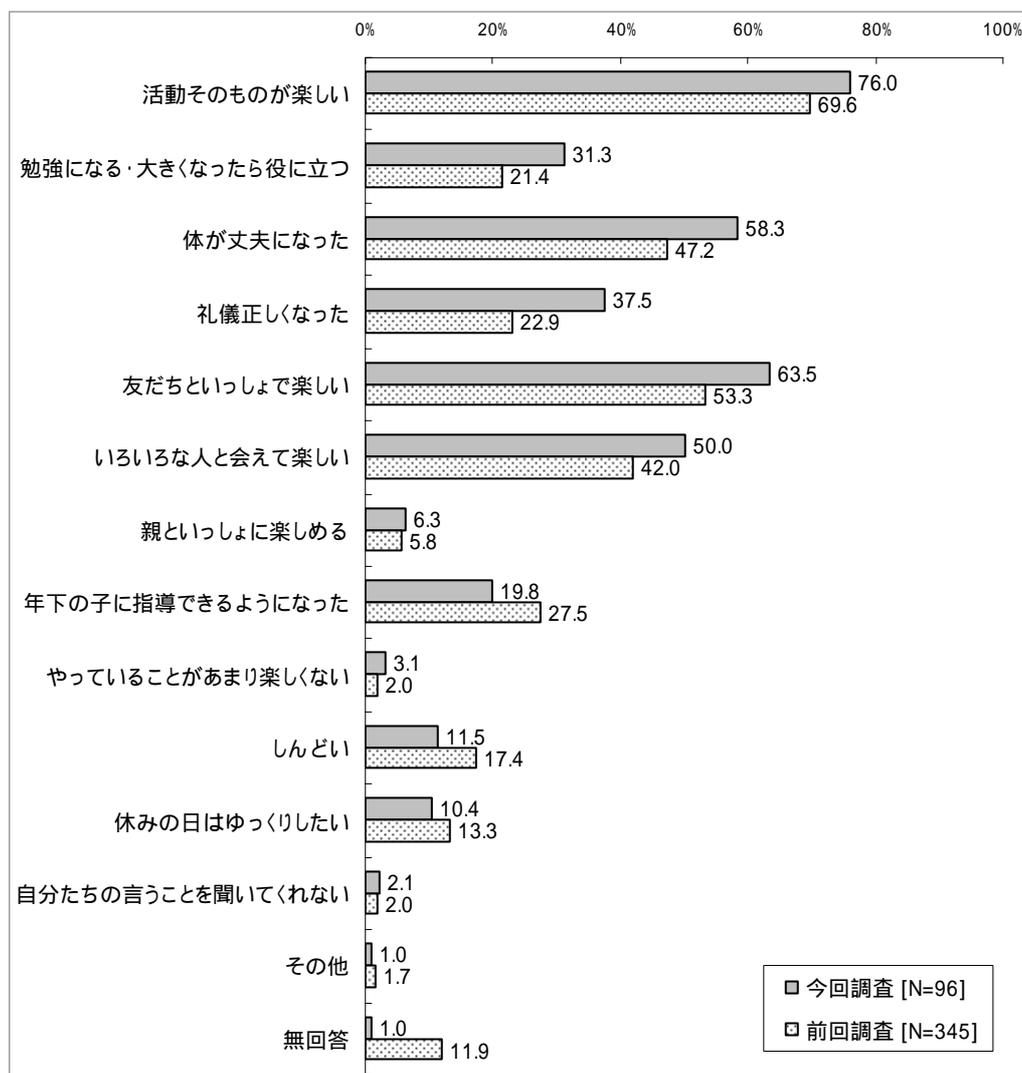


前回調査では、「観劇などのサークル活動」は「観劇のサークル」となっている。

活動に参加していると回答した人に、活動に参加して思うことを聞いたところ、「活動そのものが楽しい」という人の割合が最も高く 76.0%、次いで、「友だちといっしょで楽しい」(63.5%)、「体が丈夫になった」(58.3%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、メリットを感じている内容の割合は上昇しており、デメリットを感じている内容の割合は低下していますが、「年下の子に指導できるようになった」という人の割合は 7.7 ポイント低下しています。

図表 III-113 参加して思うこと[複数回答]

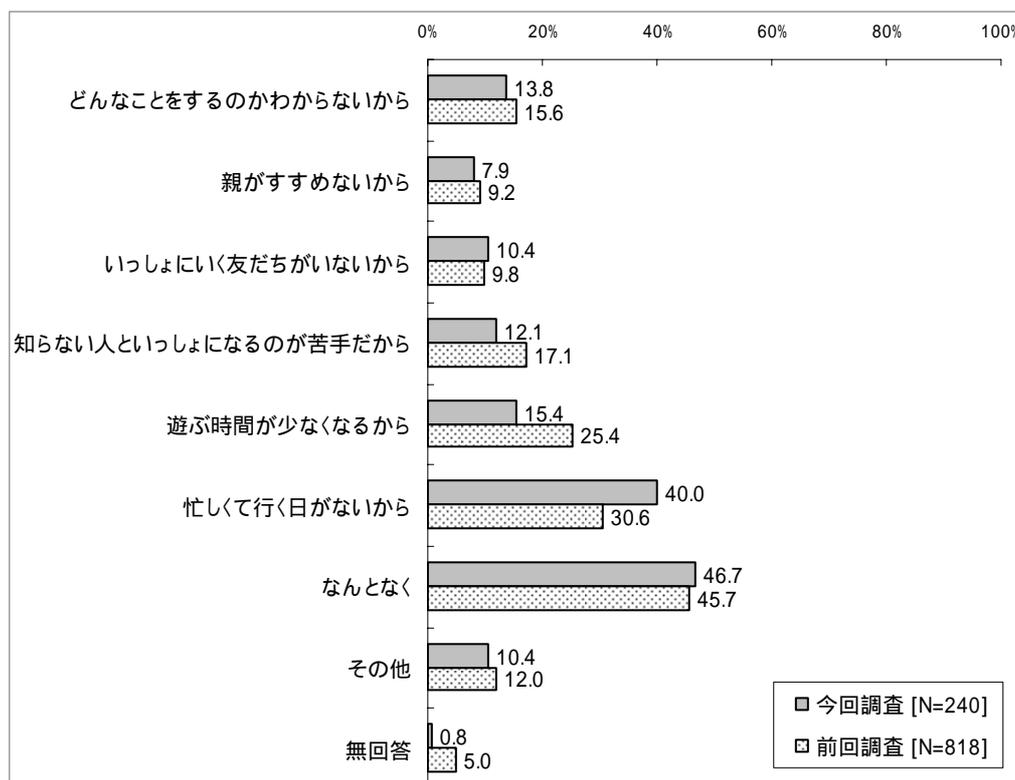


前回調査では、「活動そのものが楽しい」は「やっていることが楽しい」となっている。

活動に「参加していない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「なんとなく」という人の割合が最も高く 46.7%、次いで、「忙しくて行く日がないから」という人の割合が高く 40.0%となっています。

前回調査と比較すると、「遊ぶ時間が少なくなるから」という人の割合が 10.0 ポイント低下しており、「忙しくて行く日がないから」という人の割合が 9.4 ポイント上昇しています。

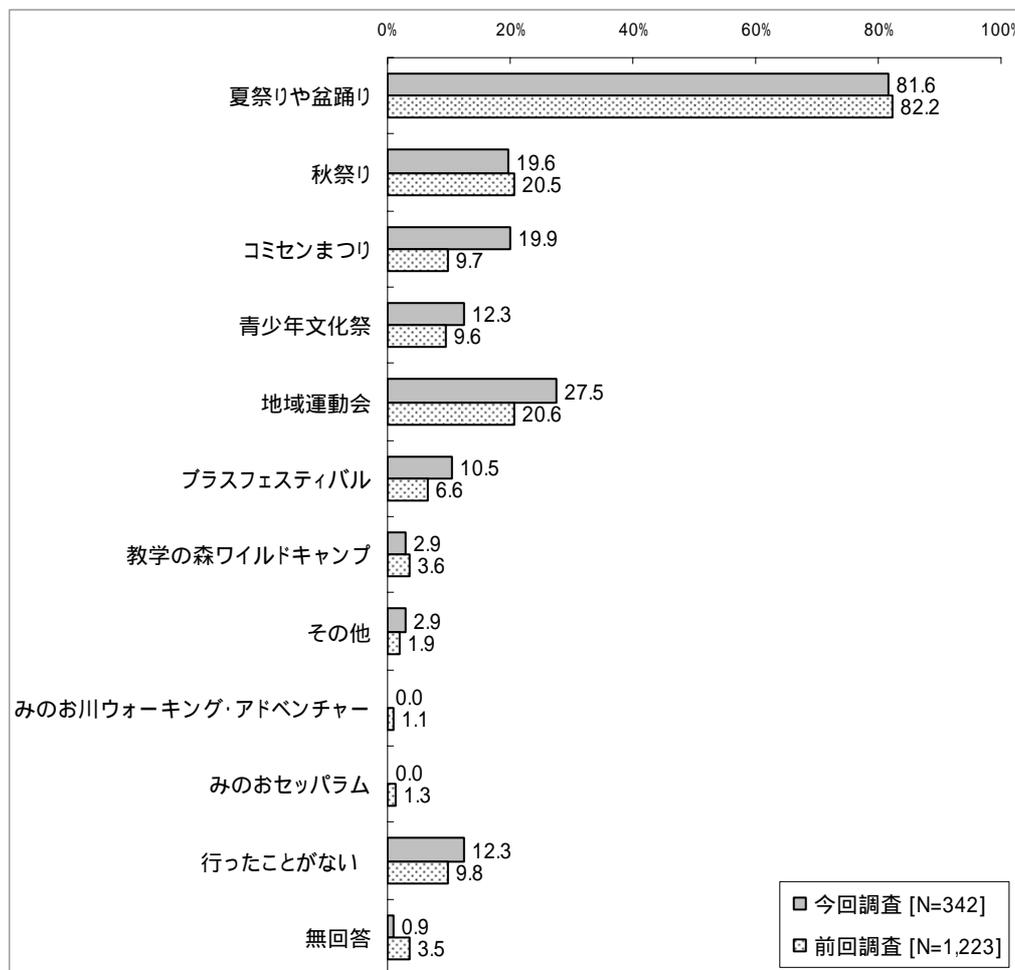
図表 III-114 参加していない理由[複数回答]



中学生になってから行ったことのある行事や催しを聞いたところ、「夏祭りや盆踊り」という人の割合が最も高く 81.6%、次いで、「地域運動会」という人の割合が高く 27.5% となっています。

前回調査と比較すると、「コミセンまつり」(+ 10.2 ポイント)、「地域運動会」(+ 6.9 ポイント) という人の割合が上昇しています。

図表 III-115 中学生になってから行ったことのある行事や催し[複数回答]

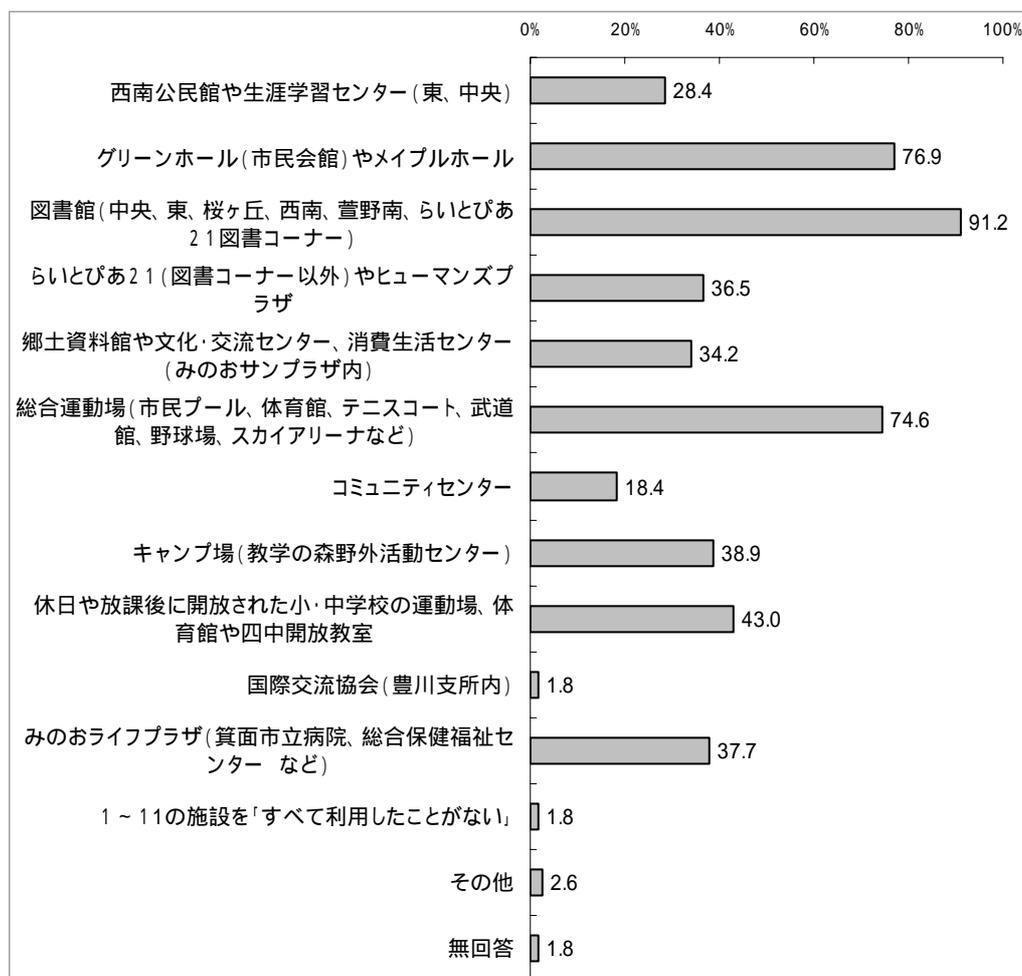


「みのお川ウォーキング・アドベンチャー」「みのおセツパラム」は、前回調査のみの選択肢である。

(3) 地域への愛着

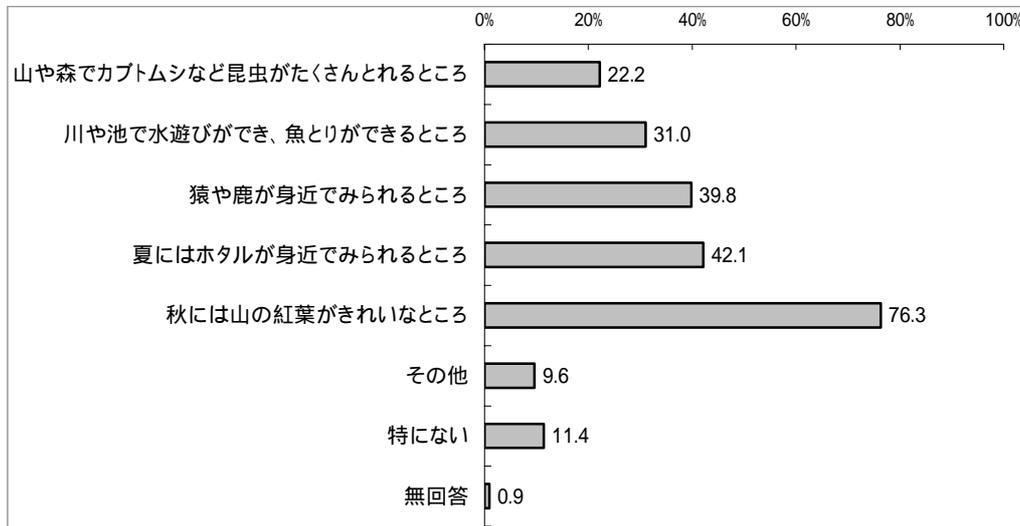
利用したり行ったことのある箕面市の施設を聞いたところ、「図書館(中央、東、桜ヶ丘、西南、萱野南、らいとびあ21図書コーナー)」の割合が最も高く91.2%、次いで、「グリーンホール(市民会館)やメイプルホール」(76.9%)、「総合運動場(市民プール、体育館、テニスコート、武道館、野球場、スカイアリーナなど)」(74.6%)の順に高い割合となっています。

図表 III-116 利用したり行ったことのある箕面市の施設[N=342；複数回答]



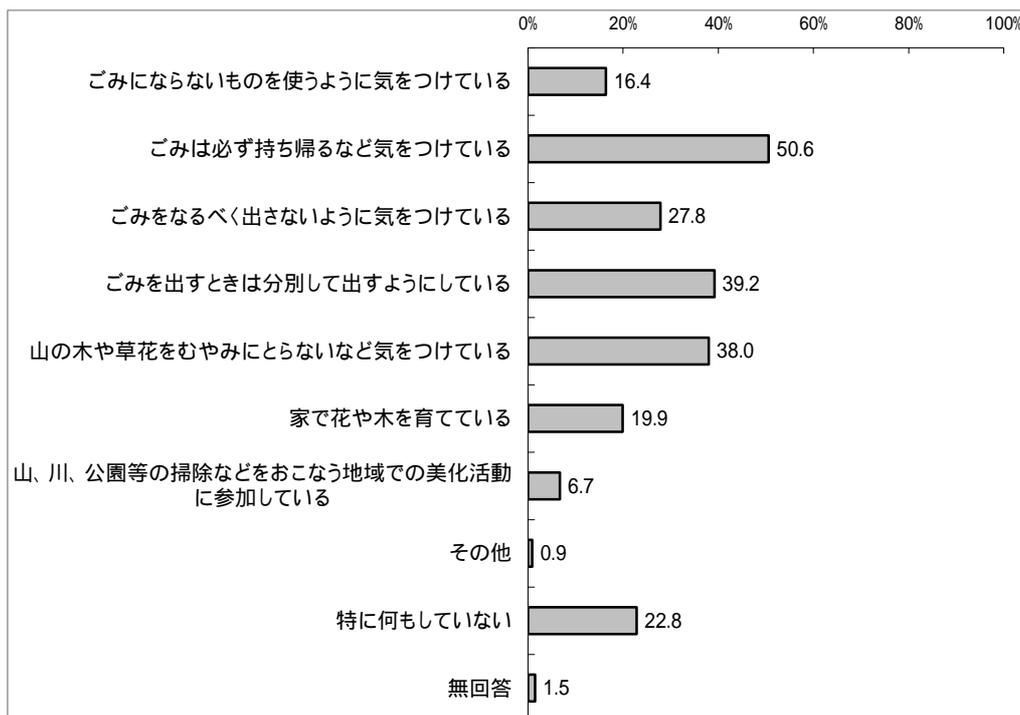
箕面の自然の好きなところを聞いたところ、「秋には山の紅葉がきれいなところ」という人の割合が最も高く 76.3%、次いで、「夏にはホタルが身近でみられるところ」(42.1%)、「猿や鹿が身近でみられるところ」(39.8%)の順に高い割合となっています。

図表 III-117 箕面の自然の好きなところ[N=342；複数回答]



箕面の自然や環境を守るためにしていることを聞いたところ、「ごみは必ず持ち帰るなど気をつけている」という人の割合が最も高く 50.6%、次いで、「ごみを出すときは分別して出すようにしている」(39.2%)、「山の木や草花をむやみにとらないなど気をつけている」(38.0%)の順に高い割合となっています。

図表 III-118 箕面の自然や環境を守るためにしていること[N=342；複数回答]



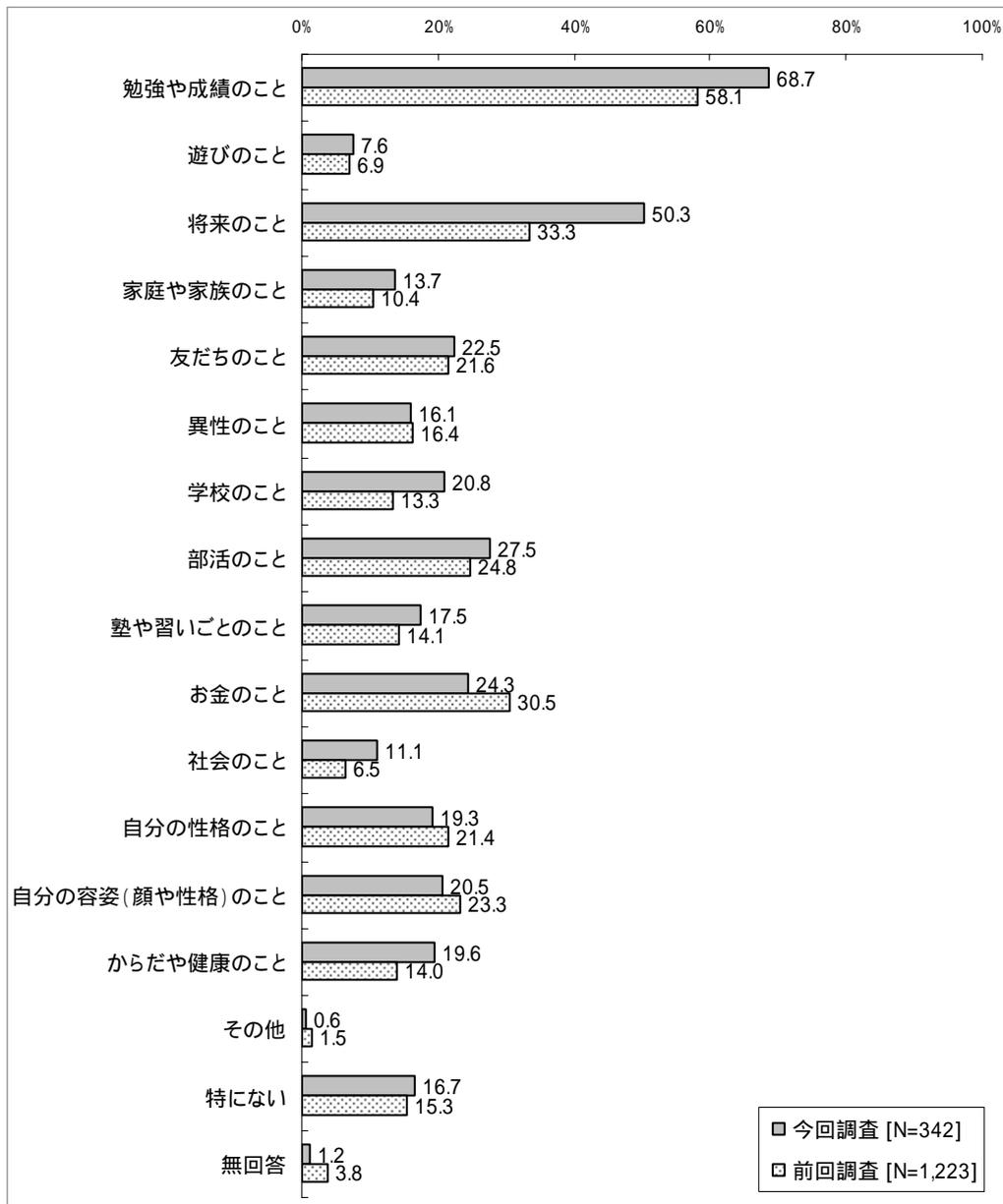
6. 考え方、気持ち

(1) 困りごと、悩みごと

今、悩んでいること、心配なことを聞いたところ、「勉強や成績のこと」(68.7%)、「将来のこと」(50.3%)という人の割合が高くとなっています。

前回調査と比較すると、「勉強や成績のこと」(+10.6ポイント)、「将来のこと」(+17.0ポイント)、「学校のこと」(+7.5ポイント)という人の割合が上昇しており、「お金のこと」という人の割合が6.2ポイント低下しています。

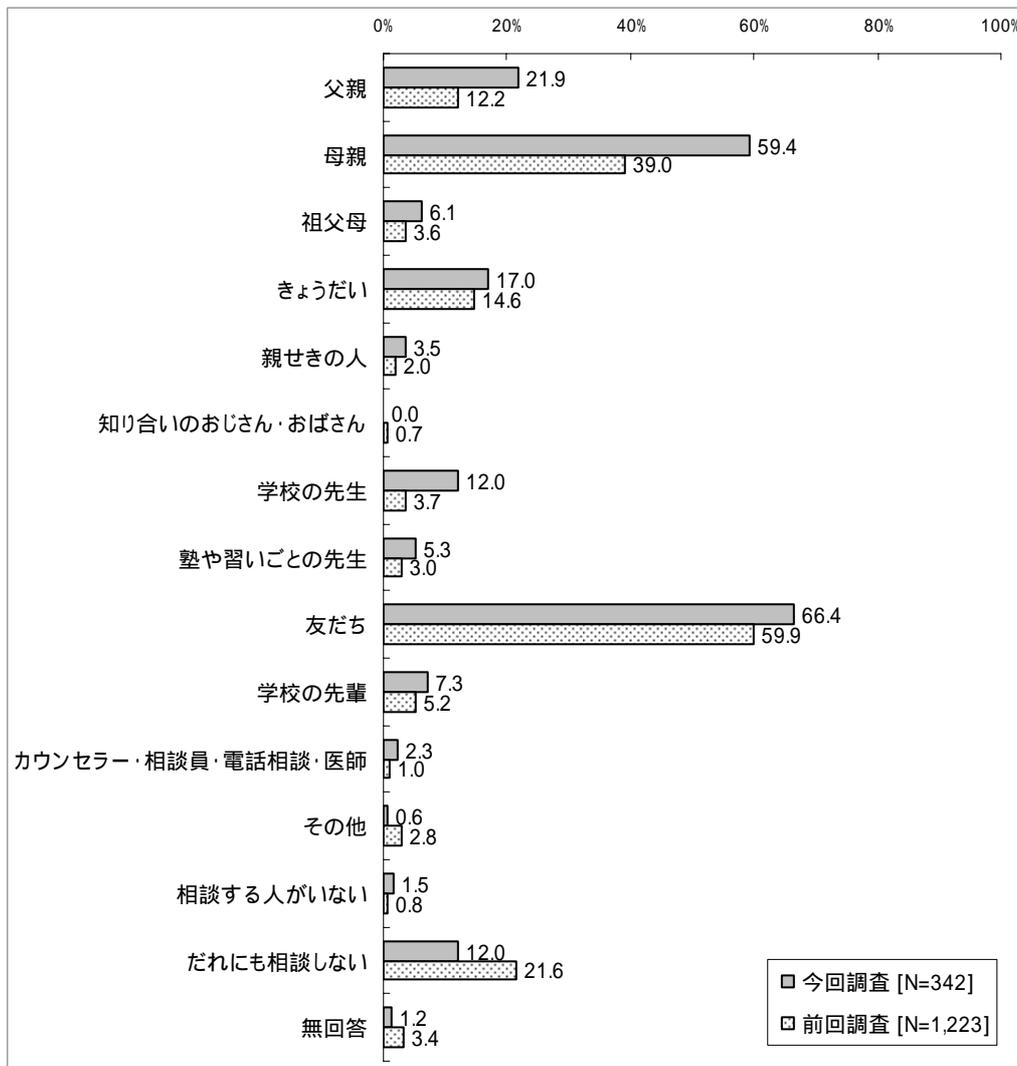
図表 III-119 今、悩んでいること、心配なこと[複数回答]



悩みや心配なことの相談相手を聞いたところ、「友だち」(66.4%)、「母親」(59.4%)が高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「父親」(+9.7ポイント)、「母親」(+20.4ポイント)、「学校の先生」(+8.3ポイント)、「友だち」(+6.5ポイント)の割合が上昇しており、「だれにも相談しない」という人の割合が9.6ポイント低下しています。

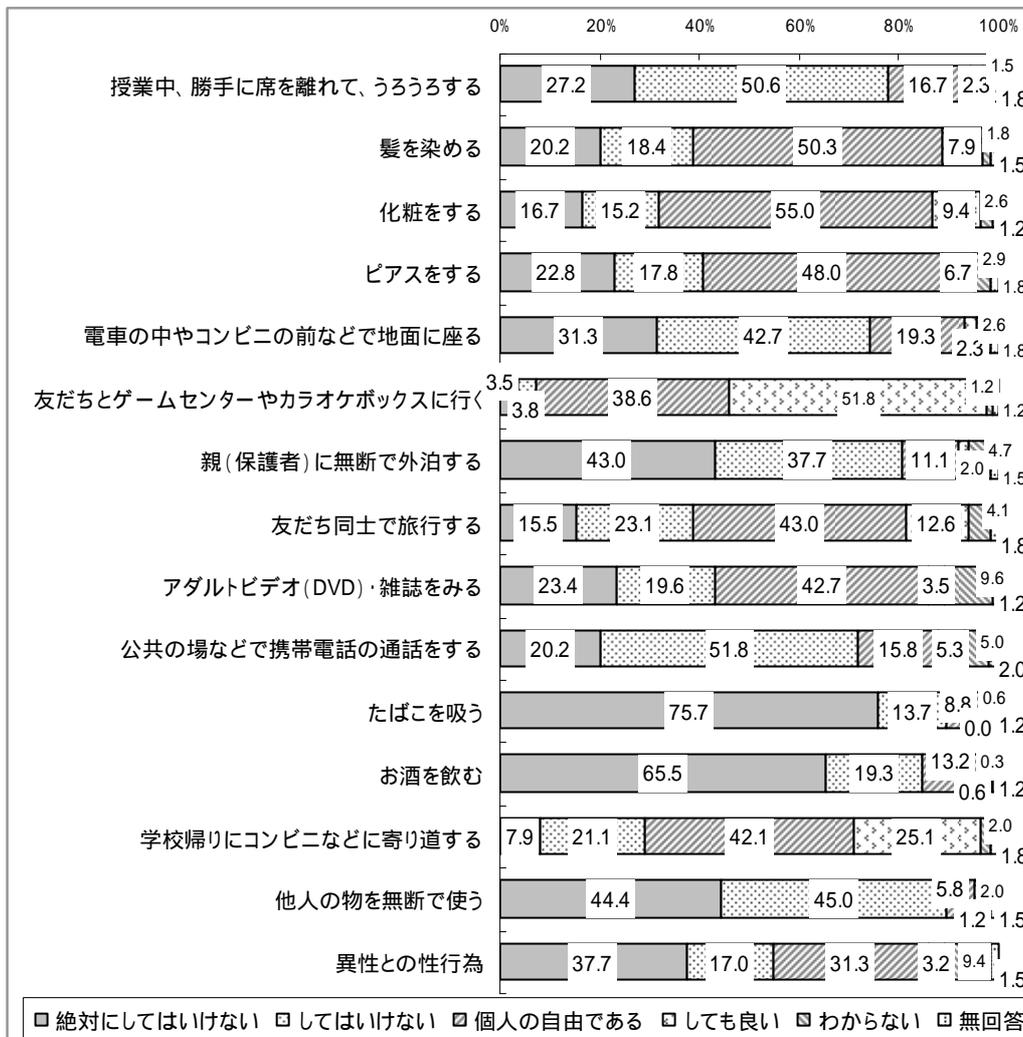
図表 III-120 悩みや心配なことの相談相手[複数回答]



(2) モラルに対する考え方

モラルに対する考え方を聞いたところ、「たばこを吸う」「お酒を飲む」については、「絶対にしてはいけない」という人の割合が高く6.5～7.5割となっています。また、「授業中、勝手に席を離れて、うろうろする」「電車の中やコンビニの前などで地面に座る」「親（保護者）に無断で外泊する」「公共の場などで携帯電話の通話をする」「他人の物を無断で使う」については、に比べると、「絶対にしてはいけない」という人の割合が低く2～4.5割となっているものの、「してはいけない」という人とあわせると、7～9割となっています。また、「個人の自由である」という人の割合は、「髪を染める」「化粧をする」「ピアスをする」「友だち同士で旅行する」「アダルトビデオ（DVD）・雑誌をみる」「学校帰りにコンビニなどに寄り道する」で高くなっており、4～5.5割となっています。

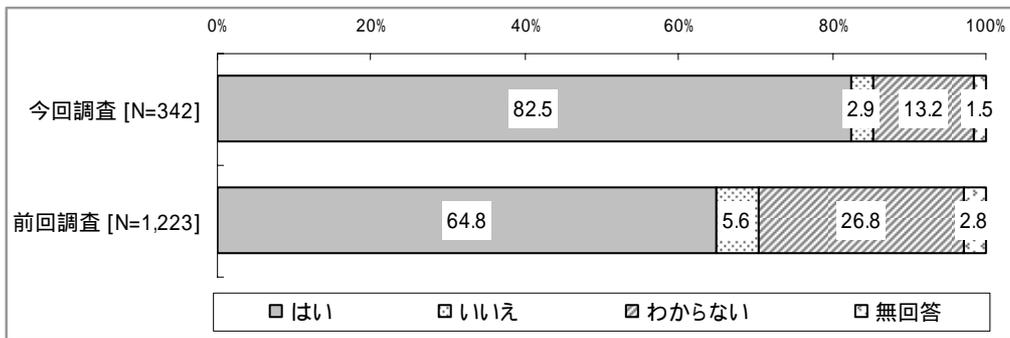
図表 III-121 モラルに対する考え方[N=342]



(3) 自分についての考え方

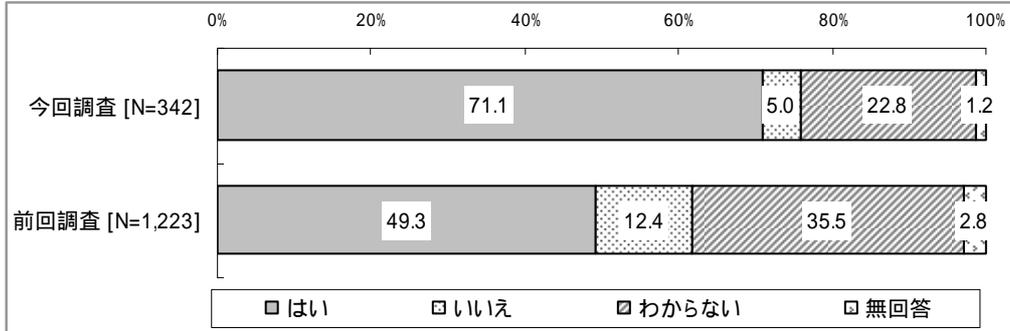
自分の気持ちをわかってくれる人がいるか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 82.5%、次いで、「わからない」の割合が高く 13.2%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 17.7 ポイント上昇しています。

図表 III-122 自分の気持ちをわかってくれる人がいるか



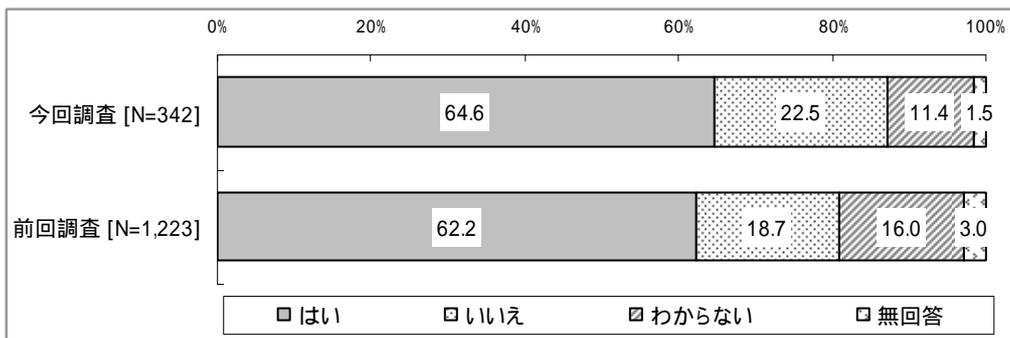
自分は幸せだと思うか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 71.1%、次いで、「わからない」の割合が高く 22.8%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 21.8 ポイント上昇しており、「いいえ」の割合が 7.4 ポイント低下しています。

図表 III-123 自分は幸せか



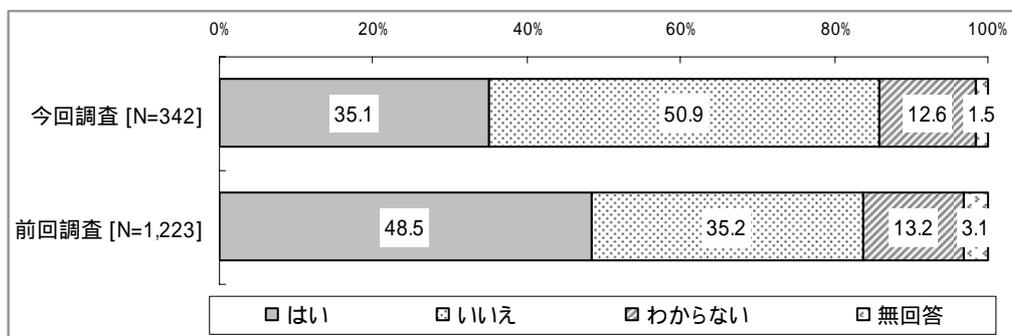
他人にどう思われているのか気になる方が聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 64.6%、次いで、「いいえ」の割合が高く 22.5%となっています。

図表 III-124 他人にどう思われているのか気になる方が



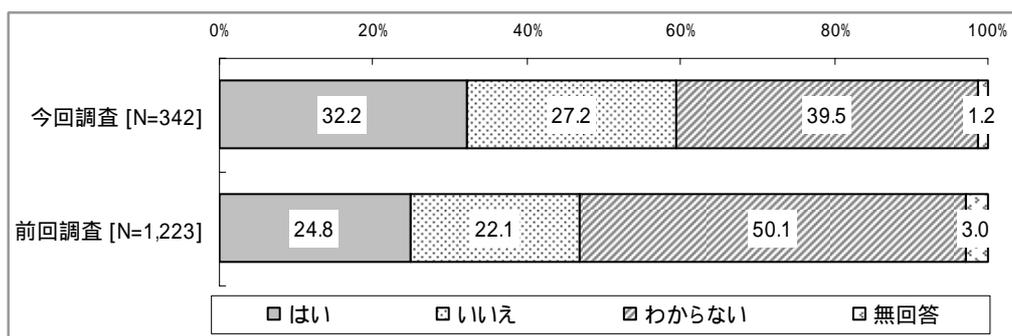
家出したいと思ったことがあるか聞いたところ、「いいえ」の割合が最も高く 50.9%、次いで「はい」の割合が高く 35.1%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 13.4 ポイント低下しており、「いいえ」の割合が 15.7 ポイント上昇しています。

図表 III-125 家出したいと思ったことがあるか



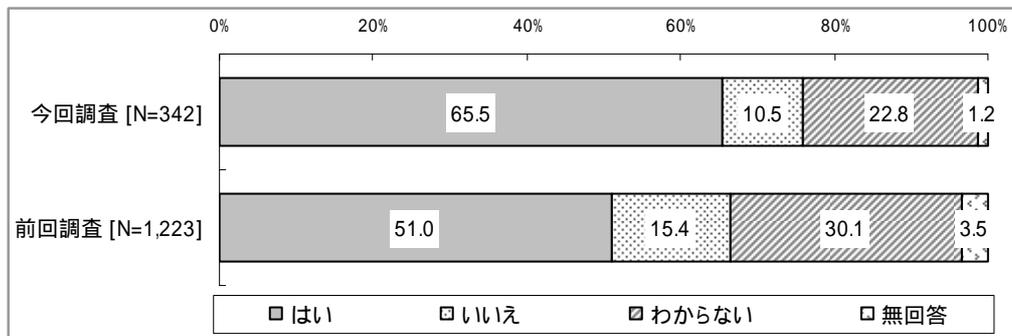
自分のことが好きか聞いたところ、「わからない」(39.5%)、「はい」(32.2%)、「いいえ」(27.2%)の順に高い割合となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合は 7.4 ポイント、「いいえ」の割合は 5.1 ポイント上昇しています。

図表 III-126 自分のことが好きか



何か1つでも自慢できることがあるか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 65.5%、次いで、「わからない」の割合が高く 22.8%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 14.5 ポイント上昇し、「いいえ」の割合が 4.9 ポイント低下しています。

図表 III-127 何か1つでも自慢できることがある[N=342]

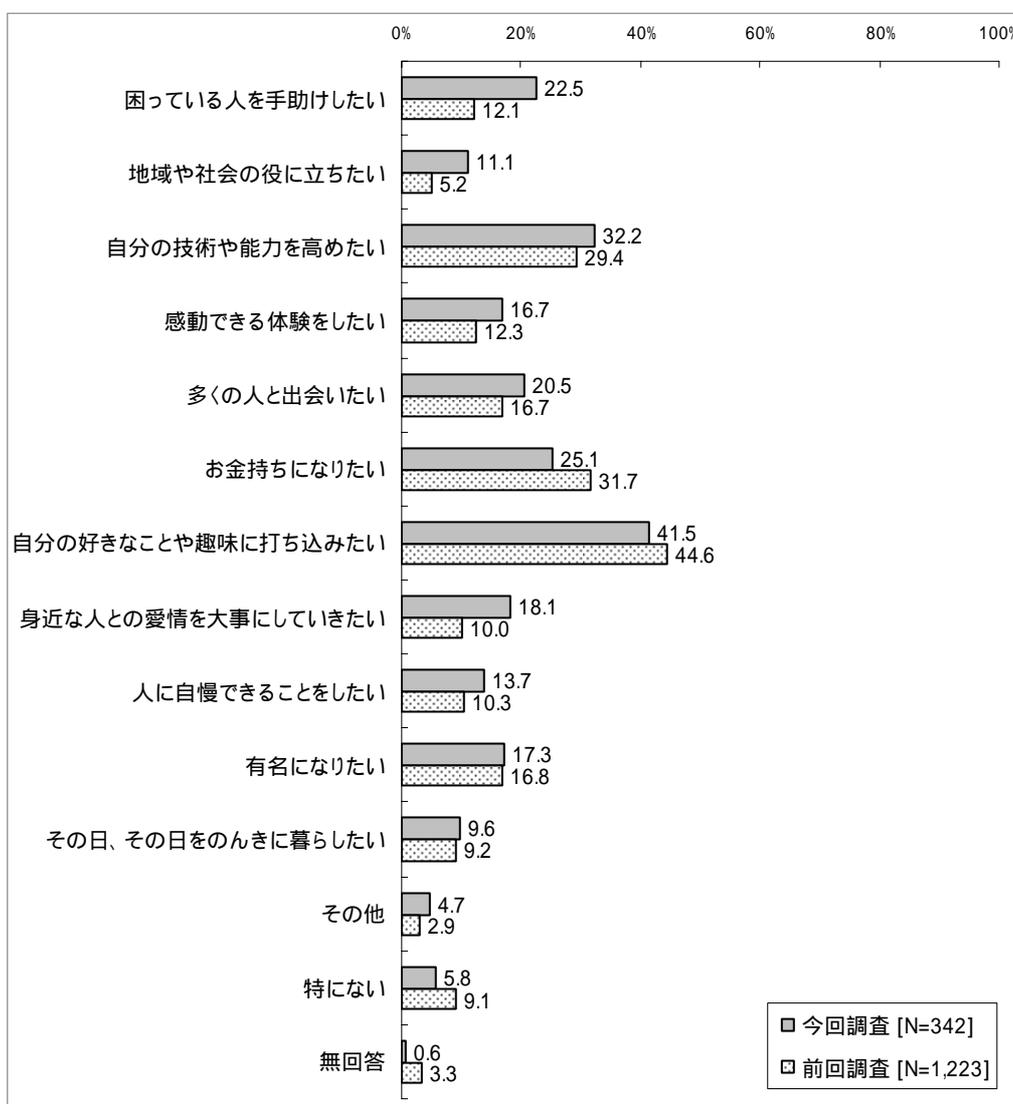


(4) 将来の夢

将来の夢を聞いたところ、「自分の好きなことや趣味に打ち込みたい」という人の割合が最も高く 41.5%、次いで、「自分の技術や能力を高めたい」という人の割合が高く 32.2% となっています。

前回調査と比較すると、「困っている人を手助けしたい」(+10.4 ポイント)、「地域や社会の役に立ちたい」(+5.9 ポイント)、「身近な人との愛情を大事にしていきたい」(+8.1 ポイント)という人の割合が上昇しています。また、「お金持ちになりたい」(-6.6 ポイント)、「特にない」(-3.3 ポイント)という人の割合は低下しています。

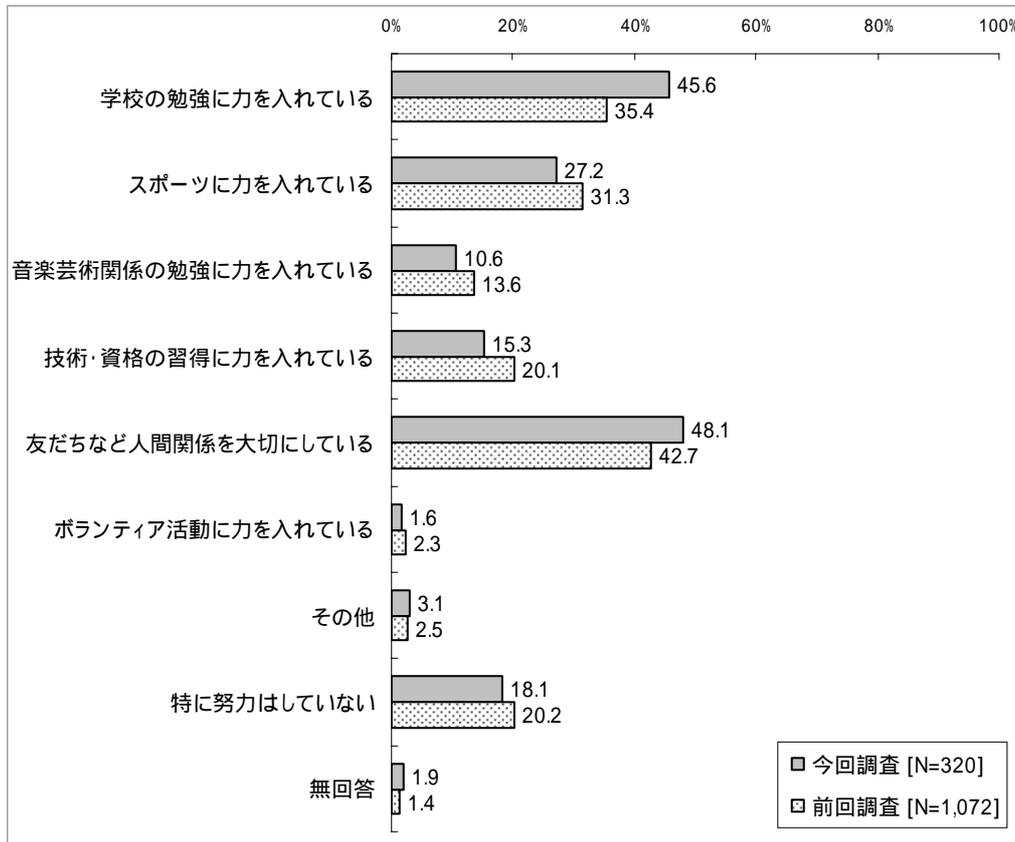
図表 III-128 将来の夢[複数回答]



将来の夢があると回答した人に、夢を実現するためにしている努力を聞いたところ、「友だちなど人間関係を大切にしている」(48.1%)、「学校の勉強に力を入れている」(45.6%)という人の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「学校の勉強に力を入れている」(+10.2ポイント)、「友だち関係など人間関係を大切にしている」(+5.4ポイント)という人の割合が上昇しています。

図表 III-129 夢を実現するためにしている努力[複数回答]



前回調査では、「学校の勉強に力を入れている」は「勉強に力を入れる」となっている。